泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 PDCAサイクル 進捗管理シート

委員会

委員会評 価

基本的方向 しごとの創生

基本目標 ①安定した雇用を創出する

ı		1 1 - A-11 - TT
	担当課	まちの活性課

具体的	的施策	①地域資源	原を活かした	こ 農業振興の	と創業支援					
事業	業 名									
,		【最終予算	額:3,4	69千円】		【決算額:	3,717 ⁻	千円】見込		
		専門的知	間談を保有す	する機関で終	経営相談を	受け、中小	企業者の二	ーズや経営	状況によ	
事業	概要	り個別に判断し、中小企業者に最も適した支援策を提案する。								
			· △1***	LWH						
			:創業支援性							
		KP I	:5年間で1		<u> </u>			T		
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
計		数値	_	70社					27年度	
曲		達成率	_	53.8%					数值見込	
P	標事項	②目標事項	:創業した作	‡数						
-	項	KPI	:5年間で3	30社						
\downarrow	· 進 捗 状		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
実施		数值	_	20社					27年度	
ine		達成率	_	66.7%					数值見込	
D	況	③目標事項	:							
		KPI	:							
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
		数 値	_							
		達成率	_						1	
		【27年度評		•				•		
	評	担当課	創業支援	については、	昨年5月に	策定した創業関と連携し	業支援事業計 事施	画に基づき	、商工会議	
	価	評価	別・口本政	東亜融ム庫・ 相談以外は、	プロリエ関係 市と商工会	議所での創	_{天加。} 業相談窓口と	して対応し	、HPの開	
	C			しやすい体制						
		В								
		【28年度に	 おける取り組	ヨルたどし						
777	改		<u>- ふりる取り私</u> 、入口部分の		少ないことな	から、創業・	起業に関す	る情報発信等	等を強化し	
平 成	善	ていく。								
27	A									
年										
度		【評価等に対	する意見】							

A :目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

具体的施策の地域資源を活かした農業振興と創業支援

平成 27 年度分

基本的方向しごとの創生

基本目標 ①安定した雇用を創出する

事 業 名|インバウンド観光消費喚起事業

担当課	まちの活性課

事業	概要	アフター けて、手ぶ	-コンベンシ ぶら観光推進	ソョンの有力 重や、キャ _ン	ッシュレス I	となるショ 環境整備、	ッピングツ 消費税免税	6 千円】 ーリズムの 店誘致、地 の充実を図	域の食材
		①目標事項	:新たに雇用	月を創出する	農商工連携を	または6次産	業化を行う	企業・団体数	Į
		KPI	:5年間で3	3社					
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
計		数値	_	1社					
画	目	達成率	_	33.3%					
(p	標事	②目標事項	:						
Р)	項	KPI	:						
→	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
実施	進 捗	数値	_						
$\overline{}$	状	達成率	_						
D	況	③目標事項	:						
		KPI	:				1	1	
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	_						
		達成率 【27年度評	— ()(#)						
	評価(担当課評価	インバウ の方を対象 望する刺繍	とした地元負 を入れるサ <mark>-</mark>	♥材を活用し -ビス、手ぶ	たランチボッら観光を推り	ックスの予約 <mark></mark> 進するため、	制限がある。 別販売、泉州会手荷物の一門	タオルに希 時預かりや
	O)	В	にオープン	した。	さ行つ占舗を	、3月にりん	かくつタワン	小駅りんくうん	ハヒリオ内
	改		おける取り組		知业家へのほ	ヨ知ち効応し	到田老粉	の増加を図る	•
平成27年度	善(4)			,公既元 合)	既 元 各八0万	可知で関感し	人 利用有数(の追加を図る),
<u> </u>		【評価等に対	する意見】						
	委員会意見	委員会評 価							
	意見								
	Δ	:月標以上	に進出してま	30 TO=	= 継続して	t 学を推進す	- Z		

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

具体的施策の地域資源を活かした農業振興と創業支援

平成 27 年度分

基本的方向農業等の振興

基本目標 ①安定した雇用を創出する

扫当課	農林水産課
ᆜᆖᆖᅈ	及竹外生脈

事業 概要 (1 長終予算額: 2.484千円) 「決算額: 2.484千円) 「表に野で収穫された地場野菜や魚介類を活用したオリジナルレシビを創出し、地場産品のプランド化と6次産業化の促進を行う。 ①目標事項:新たに雇用を創出する農商工連携または6次産業化を行う企業・団体数	事業	€ 名	泉佐野産((もん)普及	2促進事業					
事業 概要										
(P) → 実施 (P) : 5年間で3社								リジナルレ	シピを創出	し、地場
1 日標事項: 新たに雇用を創出する農商工連携または6次産業化を行う企業・団体数 KPI: 5年間で3社 現状値 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 備考 数 値 ― 1社 達成率 ― 33.3% 20目標事項: KPI: 現状値 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 備考 数 値 ― 現状値 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 備考 20目標事項: KPI: 現状値 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 備考 27年度 数 値 連成率 ― 31年度	事業	概要	産品のノラ	ランド化とも	3次産業化の	D促進を行っ	う。			
R										
R										
R										
現状値 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 備考 数値 ― 1社 □ 違成率 ― 33.3% □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □			-			農商工連携表	または6次産	業化を行う	企業 • 団体数 	
数値			KPI	:5年間で3	}社 					
直 連成率				現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
画	計		数値	_	1社					
大P : 現状値 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 備考 数値 達成率 - 3日標事項:	画		達成率	_	33.3%					
□ ・ 連	\bigcap	標事	②目標事項	:						
 現状値 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 備考 数値 違成率 - 3目標事項:	(۲		KPI	:						
実施 数値 選成率 - 30年度 30年度 31年度 備考 製値 現状値 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 備考 平成 日本 日本 127年度において、泉佐野で収穫された地場野菜や魚介類を活用したオリジナルレシビを創出した。 平成 28年度における取り組みなど] 28年度において、このオリジナルレシビを参考に商品化し、泉佐野産(もん)の普及促進を図る。 「評価等に対する意見]	\downarrow			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
施 ()	実	進	数値	2017.1		2012	2012	3312	3112) (C) (
The image	施	捗		_						
KP : 現状値 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 備考 数 値 違成率 -				<u>:</u>				<u> </u>	<u> </u>	
現状値 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 備考 数 値 違成率 - 【27年度評価】 [27年度評価] 担当課 27年度において、泉佐野で収穫された地場野菜や魚介類を活用したオリジナルレシピを創出した。 日		<i>//</i> U	-	· •						
数値 達成率 - (27年度評価) 担当課	1			· 理状值	27任度	28年度	20任度	2○任度	21任度	
達成率	1		数 値	りいハニ	21 T/X	20-7/2	20 - 7/X	00-7/2	014/2	IHI J
Table 127年度評価 27年度において、泉佐野で収穫された地場野菜や魚介類を活用したオリジナル 128年度における取り組みなど 28年度における取り組みなど 28年度において、このオリジナルレシピを参考に商品化し、泉佐野産(もん)の普及促進を図る。 (評価等に対する意見) (評価等に対する意見) (評価等に対する意見) (アロー・アン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							<u> </u>			
Page										
 価(C) B 【28年度における取り組みなど】 28年度において、このオリジナルレシピを参考に商品化し、泉佐野産(もん)の普及促進を図る。 (本) (本)<		評		27年度に		佐野で収穫で	された地場野	菜や魚介類	を活用したオ	リジナル
平成 27年度 【評価等に対する意見】 【28年度における取り組みなど】 28年度において、このオリジナルレシピを参考に商品化し、泉佐野産(もん)の普及促進を図る。 【評価等に対する意見】		価								
平成 (28年度における取り組みなど) 27年度 (28年度において、このオリジナルレシピを参考に商品化し、泉佐野産(もん)の普及促進を図る。 (27年度) (評価等に対する意見)		\hat{c}	سار ال							
平成 (28年度における取り組みなど) 27年度 (27年度) (27年度) (128年度において、このオリジナルレシピを参考に商品化し、泉佐野産(もん)の普及促進を図る。 (27年度) (128年度において、このオリジナルレシピを参考に商品化し、泉佐野産(もん)の普及促進を図る。 (128年度において、このオリジナルレシピを参考に商品化し、泉佐野産(もん)の普及促進を図る。 (128年度において、このオリジナルレシピを参考に商品化し、泉佐野産(もん)の普及促進を図る。		\cup	R							
平 成 成	1									
平 善	1	己位						·		·
成 (27 A A 年) 【評価等に対する意見】	亚			こおいて、こ	のオリジナバ	レレシビを参	考に商品化り	し、泉佐野産	£(もん)のi	普及促進を
	成	$\overline{}$	区 (本)							
	27 年	А								
【評価等に対する意見】	度									
			【評価等に対	する意見】						
		委	委員 全							
		員								
会		会								
		息								

A :目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B:ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D:目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

基本的方向しごとの創生

基本目標 ①安定した雇用を創出する

担当課	まちの活性課
1 担当課	まちの活性

具体的	的施策	①地域資源	を活かした	上産業振興	と創業支援				
事業	単 名	就労支援力	フレッジ事業	ŧ					
事業	概要	相談等か より社会参 等への就労 の6次産業	ら個々の状態 加や就労体駅 支援を行なる	版や能力応じ 食を通じて、 うことによる さらには都市	た教育訓練 一般就労へ(労働力の底」	の移行の支援 上げと、農業	、を作成し、 を行う。就 縦事者の担	5 千円】 その職場実習 労経験の少な い手不足の解 市への移住を	ない若年者 『消、農業
		①目標事項	•						
		KP I	•						
			· 現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	 備考
= 1		数値	りいハロ	乙十八	20十汉	20十段	00+12	01平反	
計画		達成率	_						
$\overline{}$	標	②目標事項	:				<u> </u>		
P)	事項	KPI	:						
\downarrow	央		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
実 施	進	数 値							
他	 	達成率	1						
D		③目標事項	:						
		KPI	:						
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率	_						
	評	【27年度評		取的重例重当	達として 内関	府やマフメ=	ディアにも紹	3介され、注目	ヨを浴びて
	価	担当課 評 価	いる事業で	あり、農業を	を核に、都市	間連携による	る農業分野に	従事する人権	材育成及び
	((от іш		進や農業就気 育成できた。	3者の増加に	よる雇用創造	出を図る事業	きとして実施	し、3名の
	C)	В	3350 115 0						
	改		おける取り組		1- L/A -W=	****	- 71 24 + 6	1. ± > ± _ ^	
平	善善	5 さ続き、 へ職場体験(、加速化父位 の実施や移住	J金での委託 E・定住を目	により、当i 指し、取り糺	後事業を実施 狙む。	3。5仏別中の36	みならず、全	当の地力
成 27	<u></u>	17,7-12,7	- 2 (30 ()2)-	_ ,					
年度	А 								
度		【評価等に対	する意見】						
	委員	委員会 評 価							
	公意	01 100							
	意見								

A :目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B: ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

基本的方向しごとの創生 具体的施策 ②企業誘致

基本目標 ①安定した雇用を創出する

担当課	まちの活性課

事 第	€ 名	企業誘致紫							
		【最終予算	額:60,	369千円]	【決算額:	45,19	4千円】	=======================================
								内に新たに	
事業	概要	建設・設置	される万	(企業)で、	一定条件	を満たす場合	合に奨励金	を交付する	0
5 /	170 🔍								
		①目標事項	:企業誘致對	受励金対象企	業数				
		KPI	: 5年後に2	24社					
	目標事		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
計		数値	9社	7社					
画		達成率	_	29.1%					
((②目標事項	: 上記企業の	D新規就業者	 数			•	
P)	事 項	KPI	:5年後に1	,513人					
\downarrow	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
実施	進		513人	525人					
他	- - - - - - - - - -	達成率	_	34.7%					•
D)		③目標事項	:奨励金を活	5用した外資	系企業の進出	出件数			
		KPI	:5年後に3	3社					
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	1社	1社					
		達成率	_	33.3%					
		【27年度評						•	
	評	担当課						業数の減少	
	価	評価	(の)、 産業集	槙奨励金のX 業数は増える	対象地球であ ろと予想され	るりんくつかるため. ほじ	メリンには新 ぎ日標どおり	「規進出企業:)に進捗して(もめり、デ いるものと
	(O)		考える。	***************************************		10/C05(10/0	メロ 派 このう		710000
)	В							
	改		おける取り組合は、美工具		- た个器に	カル中誌争の	YH去怎。	ているため、	対色とな
平	善善				うた正素には 奨励金の交付			(いるにめ、	対象とな
戍		より多くの	企業に奨励金	の活用が増	えるよう、	見在の周知方	·v·。 i法等の工夫:	を検討。	
27	Α								
年度)								
区		【評価等に対	する意見】						
	未	포 모스							
	女員	委員会 評 価							
	委員会意	U 1 1 IIII							
	意								
	見								
		. 5	L に准性しては			+ 111/ ** + 14 \ 14			

A ・目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。 B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

基本的方向しごとの創生

基本目標 ①安定した雇用を創出する

ı		1 1 - A-11 - TT
	担当課	まちの活性課

具体的	的施策	③地域産業	美の競争力3	蛍化					
事業	* 名	中小企業絲	給合支援事業	ŧ					
事業	概要	専門的知	□識を保有す	69千円】 する機関で約 い企業者に計		受け、中小	3,717- 企業者の二 案する。	千円】見込 一ズや経営	状況によ
①目標事項:支援企業数									
		KPI	· 久版						
			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
≡ ∔		数値	71社	50社	201/2	20 1/2	33 1/2	3112	M10 D
計画		達成率	_	31.2%					
$\overline{}$	標	②目標事項	:						
P	事項	KPI	:						
\downarrow	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
実	進 捗	数値							
施へ	数 状	達成率	_						
D	況	③目標事項	:						
		KPI	:						
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率	_						
	評	【27年度評		王庶より は	1小企業・小	^{揖模宝举去∧})経学のお似	みを解決する	ろ「総合診
	価	担当課評価	療科」であ	る「よろずえ	を援拠点」を	活用し、中点	小企業者の二	ニーズの応じる	に支援策の
	((<u>ā</u> + IШ						対略まで、「 ・を実施相談」	
	C)	В		取り組みを行			3.00 2 71.		
	76	【28年度に	L おける取り約]みなど]					
平	改 善		をまちの活性	生課で対応し	、支援拠点の	としての充実	を図るため、	、周知等の拡	抗充を図
戍] (る。							
27 年	А								
年 度)		+						
		【評価等に対	19 る恵見】						
	委員会意見	委員会評 価							
	意見								

A :目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。 B : ほぼり煙 だわりに 巻歩しており、 微差して事業を推進する。

B: ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。 C:目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

基本的方向しごとの創生

基本目標 ①安定した雇用を創出する

具体的施策 ③地域産業の競争力強化

ı		1 1 - A-11 - TT
	担当課	まちの活性課

事業	業 名	インバウン	ノド観光消費	貴喚起事業					
		【最終予算	翔:28,	727千円)		【決算額:	21,596	6千円】	. <u></u>
アフターコンベンションの有力なツールとなるショッピンクはて、手ぶら観光推進や、キャッシュレフ環境整備、消費税を									
事 業	概 要	を使ったバ	いつ既兀推及 /ラル食の音	ェマ、ナヤ! §及などの₹	ノンユレス! 受入環境の!	_{来児罡佣、)} 甚盤整備や	ri具成光板。 コンテンツ	占誘致、心 の充実を図	以い艮M る。
		,,_,							_ •
		①目標事項	:地域内にお	づける経済波	及効果額				
		KPI	: 5年後に9						
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
計				107億6千万					
画		達成率	_	119.5%					
$\overline{}$	標事	②目標事項	:観光客数						
Р	事項	KPI	:5年後に7	70万人					
↓	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
実 施	進 捗	数 値	530万人	822万人					
\frown	状	達成率	_	106.8%					
\bigcirc	況	③目標事項	:						
-		KPI	:						
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率	—————————————————————————————————————						
	評	【27年度評	インバウ	ンド観光客学	費喚起とし	て、食事に関		:制限がある~	イスラム圏
	価	担当課 評 価	の方を対象	とした地元食	は材を活用し	たランチボッ	ックスの予約	販売、泉州の	タオルに希
	\widehat{C}	от іШ	望する刺繍	を入れるサー	-ビス、手ぶ	ら観光を推進	重するため、	手荷物の一B /駅りんくう/	寺預かりや
	C)	В	にオープン		~un C	_ , 5 () /			L7 - V - L
			+\\-!]¬. ← ' " "					
	改		よける取り組 、インバウン		 た受入 厝焙 剌		せることで	、さらなる地]域経済波
平 成	善	及効果が出	るような仕組	目みに取り組	さった。本代は	、こ, u大C		. こ ン・ひ ひだ	- >vn±1/1/1/X
27	A								
年度	-								
岌		【評価等に対	する意見】						
	未								
	委員会意見	委員会 評 価							
	会								
	息見								
		:日樺いし	<u> </u> に准挑しアキ	うり、このま ^っ	ま継続して	[業を推進す	る.		
				いり、このみ _上 ーアセル					

B :はは目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

基本的方向しごとの創生

基本目標 ①安定した雇用を創出する

+□ ¼ =⊞	またの活性調
担当課	まちの活性課

具体的	的施策	第一④女性に対する就職相談等							
事業	€ 名	地域就労支援事業							
事業	【最終予算額:5,629千円】 【決算額:4,666千円】 働く意欲がありながら雇用や就労を実現できない就職困難者等に対し、地域就労援事業の活用、相談、資格取得講座への誘導等を行い、一人でも多くの就労の実現向けて支援をする。								
		10日煙車頂	:女性へのま	5摇供粉					
		W日標爭項 KPI	: 5年間で2						
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	 備考
≣∔		数値	—	110人	20 +/X	20 +/x	00 + / <u>X</u>	J 1 7/X	, m)
計 画		達成率	_	55.0%					
\frown	+#5		: 上記のうち		(起業者を含	きむ)		<u> </u>	
Р	争 項	KPI	:5年後に6	30人					
↓	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
実 施	進 捗	数値	_	4人					
$\overline{}$	状	達成率	_	6.0%					
D	況	③目標事項	:						
		KP I			005-				144-44
		** / *	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率 【27年度評							
	評価(担当課評価	市内3か原	所にある地域 毎年、ほぼ様		ンターにおい	て、就労相	談を実施して	いるが、
	(C)	В							
	7,17		おける取り組						
平成27年度	改善(A)	相談者の	状況に応じた	き、きめ細や	かな支援がで	できるメ <u>ニュ</u>	ーを提供し	<u>ていく。</u>	
,×		【評価等に対	する意見】						
	委員会意見	委員会 評 価							
	טע								
					ま継続して事業				

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

E:目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

基本的方向しごとの創生

基本目標 ①安定した雇用を創出する

担当課	まちの活性課
1 担当課	まちの活性

具体的	加施策	④女性に対する就職相談等							
事業	1 名	名 女性起業家創業支援事業							
			寶額∶1,0℃			【決算額:			
			削業する意合	次ある女性は	2業家に対	して、初期	費用に対す	る補助金を	交付す
事 業	概 要	る。							
		①目標事項	: 女性への3	支援件数					
		KPI	:5年間で2	00人					
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
計			_	110人					
画	E	達成率		55.0%					·
О Р	標	②目標事項	:上記のうち	5、就業者数	(起業者を含	含む)			
Р	標事項	KPI	:5年後に6	0人					
↓	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
実 施	進 捗	数値		4人					
\frown	状	達成率	_	6.0%					
D	況	③目標事項	:						
		KPI	:						
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率	——————————————————————————————————————						
	評	【27年度評		の女性起業家	<u></u>	泉佐野市でご	3回実施。 7	′3名の参加る	
	価	担当課 評 価	た。地方創	生交付金補正	E対応による	補助金制度を	を創設し、募	集を行ったが	が短期間で
	(о і іШі	めったためとが困難で	に(約1ヵ月 あるなどの理	∃怪度)相談 ⊉由により交	寺はめったた 付者がいなか	い、期间囚(かった。	(3月末) に葬	※1丁96こ
	C)	В					— 0		
ļ			+,,,,==:	77. 					
_	改		おける取り組 野駅周辺の日		性化や空きの	<u>-</u> ち舗、インハ	ウンド対等	等の政策間連	連携による
平 成	善			募集期間に				うくえること	(A) = (C) =
成 27	$\stackrel{\frown}{A}$								
年	· · ·								
度		【評価等に対	する意見】						
	Ŧ								
	委員会意見	委員会 評 価							
	会	o i iiii							
	意								
	元								
	^	・口描いし	に 半址 ニア+	310 - 4	=	ち ヅ な状状さ	· Z		
				おり、このま *! ており					

B :はは目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

基本的方向しごとの創生

基本目標 ①安定した雇用を創出する

担当課	まちの活性課
	と かっかん 上帆

具体的	り施策	後 ④女性に対する就職相談等							
事業	美 名	名 地域雇用創造バンク事業							
【最終予算額:22,537千円】 【決算額:14,401千円】 大都市圏等に在住するプロフェッショナル人材やスキルアップ等を培う研						ルナルラ			
								寺を培つ研 雇用するこ	
事業	概要	定した雇用	目につなげて	ていく。地は	或が必要と つ	する人材を ⁱ	育成・登録	し、地域事	業者とそ
		の人材を履	『用マッチン	ソグするこ	とにより、1	地域の雇用	創出及び安	定雇用を促	進する。
		1目標事項	:女性へのえ						
		KPI	:5年間で2	T	ı			•	
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
計		数値	_	110人					
画	日畑	達成率	_	55.0%					
(P)	標事	0 - 10 0		5、就業者数	(起業者を記	含む)			
_	項	KPI	:5年後に6	r					
→ 実	• 進		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
施	步	数値		4人					
$\overline{}$	状	達成率	-	6.0%					
<u>D</u>	況	3目標事項	<u>:</u>						
		KPI	TRUNE	07/5/5	00/F#	00/T/T	00/F#	04/F/F	/++ -1 /
		жь I I	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率 【27年度評							
	評	担当課	トライア				すが、バンク	受録者や人を	材育成等の
	価	評価	人数は初年 受託事業	度ながらも数 者もこのよ ^っ	ぬ値を残して うなスキーハ	いる。 で行政とタ~	イアップレて	事業展開する	るのは初
	(O)		ケースでも	あり、継続す	することでそ	れぞれの数値	直を高めてい	きたい。	ورا ماره م
)	В	また、1名	は正社員とし	ノて地元事業	者にて雇用が	が決定した。		
		【28年度に	上 おける取り組	 みなど					
平	改 善				大を検討する	ることで、さ	らなる雇用	創出をめざっ	τ 。
成	台 (
27	А								
年度)								
/2		【評価等に対	する意見】						
	委	委員会							
	員	評価							
	委員会意見								
	見								
	Α	:目標以上	に進捗してお	3り、このま	ま継続して	事業を推進す	る。		

B :ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略

PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 27 4	年度分
---------	-----

基本目標 ①安定した雇用を創出する

基本的方向 人材還流・人材育成 具体的施策 ⑤高齢者の就労支援

担当課	

事業	名	シルバー人	材センター	-育成事業					
			算額:11,88				: 11,880 1		
		高齢者の)雇用の確保	₹を促進する	るために、:	シルバー人	材センター	への支援を	行う。
事業	概 要								
		1目標事項	:会員数						
		KPI	: 5年後の1	,190人					
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
計		数 値	944人	993人					
画		達成率	_	83.4%					
()	標	②目標事項	:契約件数		<u></u>		<u></u>	<u></u>	
P)	事項	KPI	: 5年後に2	<u>2</u> ,570件					
\downarrow	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
実	進		2,402件	2,435件					
施(捗 状	達成率	_	94.7%					
D	況	③目標事項	:		<u></u>		<u></u>	<u></u>	
		KPI	:						
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		達成率	_						
		【27年度評			·· ·· += (// ///				
	評価	担当課						るため、会員 [」] E行っている。	
		評価	理由として	は、「高年齢	於者雇用安定	法」(平成2	25年4月1	日施行)に。	より、定年
	C				星用継続が可 京因として考		ことから、6	60歳前半の2	入会者が減
		В	3 0 CV 100	こしなころの	た囚ししてっ	んりいる。			
	74	【28年度に	L おける取り組	みなど】					
平	改 善	今後も会	員増強のため	5の、パンフ	/レット作成や	ゥポスティン	グに取り組	んでいく。	
平 成									
27	А								
年度	<u> </u>								
/×		【評価等に対	する意見】						
	委	委員会							
	委員会意見	評価							
	会								
	息見								

A :目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。 B : ほぼり煙 だわりに 巻歩しており、 微差して事業を推進する。

B:ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

基本的方向しごとの創生

基本目標 ①安定した雇用を創出する

具体的施策・⑥人材育成・雇用機会の拡充

ı		1 1 - A-11 - TT
	担当課	まちの活性課

事業	1 名	名 地域雇用創造バンク事業										
【最終予算額:22,537千円】 【決算額:14,401千円】 大都市圏等に在住するプロフェッショナル人材やスキルアップ等を培う研修を修了												
		1.た 人 ホオオタ										
事業概要 した人材を、バンクに登録し、市内の中小企業者等にトライアル雇用するこ 定した雇用につなげていく。地域が必要とする人材を育成・登録し、地域事								業者とそ				
	の人材を雇用マッチングすることにより、地域の雇用創出及び安定雇用を促進する。											
		①目標事項	:トライアノ	 レ雇用数								
		KPI : 5年後に50人										
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考			
計			_	3人								
画	B	達成率	_	6.0%					•			
((標	②目標事項	:地域雇用創	削造バンク登	録者数		•					
P)	事項	KPI	:5年後に1	150人								
\downarrow	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考			
実	進	数値	_	60人								
施へ	捗 状	達成率	_	40.0%								
D	況	③目標事項	:人材育成数	以(研修等参	加者数)							
		KPI	:5年間で3	300人								
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考			
		数値	_	34人								
		達成率	-	11.3%								
	=10	【27年度評		. =n*:4:] +		++* 1">	7VAI +7 \ A				
	評価	担当課		ル雇用致はE 度ながらも数			9 か、ハンシ	受録者や人物	M育成寺の			
	$\overline{}$	評価	受託事業	者もこのよう	うなスキーム	で行政とター		このような				
	C	Ь	するのほ例 い。	めしのグーン	くぐもめり、	継続するこの	こぐそれぞれ	の数値を高る	めていさに			
		В		は正社員とし	ノて地元事業	者にて雇用な	が決定した。					
	改		おける取り約									
亚	善善	EC(電	子商取引)は	こよる販路拡	大を検討する	ることで、さ	らなる雇用	創出をめざす	Γ.			
成	$\overline{}$											
27 年 度	А											
度			1 + 2 + 2									
		【評価等に対	する意見】									
	委	委員会										
	委員会意見	評価										
	意											
	見											
	Α	:目標以上	に進捗してお	3り、このま	ま継続して	事業を推進す	る。					

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

基本目標 ①安定した雇用を創出する

基本的方向 人材還流・人材育成

+□ ݖݖ ≡⊞	士+ の活州部
担当課	まちの活性課

■ 業 名 3 対											
「最終予算額: 14, 086千円」	具体的施策		⑥人材育成・雇用機会の拡充								
事業 概要 おけんきがら値だの状態や能力応じた教育訓練力リキュラムを作成し、その職績実習活動等に 等への放労支援を行なうことによる労働力のの移行の支援を行う。就労経験の少ない若年音 等への放労支援を行なうことによる労働力のの長年野市から弘前市への移住を促進する ことを目的としている事業	事	 業 名	就労支援力								
RPI : 5年間で250人 現状値 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 備考 数値 ― 67人 連成率 ― 26.8% 図目標事項: 就労体験者数 KPI : 5年間で150人	事業	概 要	【最終予算額:14,086千円】 【決算額:13,745千円】 相談等から個々の状態や能力応じた教育訓練カリキュラムを作成し、その職場実習活動等により社会参加や就労体験を通じて、一般就労への移行の支援を行う。就労経験の少ない若年者等への就労支援を行なうことによる労働力の底上げと、農業従事者の担い手不足の解消、農業の6次産業化の促進、さらには都市部から泉佐野市、泉佐野市から弘前市への移住を促進する								
RPI : 5年間で250人 現状値 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 備考 数値 ― 67人 連成率 ― 26.8% 図目標事項: 就労体験者数 KPI : 5年間で150人			①日煙重頂	・相談者数							
□ 日					· 50人						
世						28年度	29年度	30年度	31年度		
画	<u></u> ≢∔			_							
P 事項・・ ・ 現状値 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 備考 数 値 - 38人 運成率 - 25.3% 3目標事項:一般就労者数 KPI:5年後に25人 現状値 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 備考 要成率 - 12% 31年度 第四 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 備考 127年度評価 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 備考 127年度評価 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 備考 127年度評価 1日当課		目		_	26.8%						
		標	②目標事項	:就労体験者	對						
・ 進		項	KPI	:5年間で1	50人						
大	\downarrow	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
大	実 施		数値	_	38人						
KPI : 5年後に25人 現状値 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 備考 数 値	$\overline{}$	状		_							
現状値 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 備考 数値 - 3人	D	況									
数値 - 3人 達成率 - 12% (27年度評価) (世) 担当課			KPI								
達成率				現状値		28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
では、				_							
平成 27 名 年 1 日本 1				—————————————————————————————————————	12%						
平成 (28年度における取り組みなど) 3目き続き、加速化交付金での委託により、当該事業を実施。弘前市のみならず、全国の地方へ職場体験の実施や移住・定住を目指し、取り組む。 27日年 A日年		価(担当課 評 価 交付金先駆的事例事業として内閣府やマスメディアにも紹介され、注目を浴びている事業であり、農業を核に、都市間連携による農業分野に従事する人材育成及び地方移住促進や農業就労者の増加による雇用創出を図る事業として実施し、3名の就農人材を育成できた。								
平 引き続き、加速化交付金での委託により、当該事業を実施。弘前市のみならず、全国の地方 善 成 へ は											
	平 引き続き、加速化交付金での委託により、当該事業を実施。弘前市成 内 (本)						。弘前市の	みならず、全	国の地方		

A :目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B:ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

【評価等に対する意見】

委員会

評価

員

会意

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

基本目標 ②定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる

平成 27 年度分

基本的方向を住促進の強化

:	担当課
---	-----

具体的	1施策	①定住・移住の促進							
事業	業 名	定住・移住(住宅総合助成)促進事業、空き家バンク制度							
		【最終予算額: 50,840千円】 【決算額: 24,957千円】							
事 業	概 要	〇住宅総合助成事業・・・本市で居住用の住宅を購入又は建設する方に対して、住宅の抵当権設定登記や所有権保存登記等に要した費用、及び記載費用を助成する							る。 :した空き
		①日煙事頂			<u></u>				
		KP I	: 5年間で2		ПУЛ				
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
≡ ⊥		数値	クU1/ \i=	104件	20+12	20+12	00+12	017,3	, m J
計画		達成率	_	4.6%					
$\overline{}$	標		: 空き家バン	ソク登録件数	[
Р	事項	KPI	: 5年間で2						
\downarrow	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
実施	進 捗	数値	_	28件					
他	歩	達成率	_	9.5%					
D	況	③目標事項	:						
		KPI	:						
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率	<u> </u>						
	評	【27年度評		<u> </u>	<u></u>	字総合助成3	 事業は、当初	1は周知不足	<u></u> 等もあり、
	□ □ □ □□□誌 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	ハたが 、 年度 _ン て事業を推	後半は右肩」 進していく。	上がりに増加	□しており、[目標は下			
	C 空き家バンク制度については、TV等で紹介されたこともあり、 てきており登録件数も増加していくと思われる。								こ 向知 ○ 化
	7.5		おける取り組			`^ n. +=**	220m (24	<u> </u>	, -, , ,
平	改善	H28年度	を	績から勘系し	ノて、任 名総	台助风事業2	200件(予算	算上)を見込	んでいる。
成 27 年 度	Â								
度	<u> </u>								
		【評価等に対	†する意見】 ┏						
	委員公意	委員会 評 価							
	意								

A :目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B:ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

基 本 目 標 ②定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる

平成 27 年度分

基本的方向を住促進の強化

担当課	
Ⅰ 担当課 Ⅰ	人権推進課

具体的	的施策	②移住を検討している女性や移住女性のための地域交流活動の促進							
事業	《名	市民協働型事業(男女共同参画サポート事業)							
【最終予算額: 2,409 千円】 【決算額: 2,228 千円】 誰もが各々の個性と能力を発揮できる地域づくりをめざして、市民(グループ)									
誰もが各々の個性と能力を発揮できる地域づくりをめざして、「事業者・教育関係など様々な立場の人びととのパートナーシップ」 啓発事業を実施する。男女共同参画社会に向けた、各種講座、グス 務等を実施する。						により相談	及び市民		
		①目標事項	:女性センダ	ター年間利用	 者数				
				3,235人/年					
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
計		数 値	3,078人	5,302人					
画		達成率	_	163.9%					
(P	標事	②目標事項	:						
Р) -	項	KPI	:						
→	•)#		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
実施	進 捗	数値							
$\overline{}$	状	達成率	<u> </u>						
D	況	③目標事項	<u>:</u>						
		KPI		07年度	20年度	20年度	20年度	21年中	/# *
		数 値	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		達成率	_						
		【27年度評	2価】						
	評価((担当課評価	層を掘り起	こすことがで	ごきた。セン	ター内にてt	世代を超えた	ことで、新 利用者間の の成果があった。	交流が深ま
	C)	Α							
	改		おける取り組 一層 誰も <i>t</i>		りなくのア゙ドキ	<u> </u>	きと過ごせ	るようジェン	ノダーの組
平 成	善	点を重点的						の企画を検討	
27	A	<.							
年 度									
反		【評価等に対	する意見】						
	委	委員会							
	委員へ	評価							
	会意見								
	覚								

A :目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D:目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

担当課	まちの活性課
-----	--------

基 本 目 標 ②定住魅力の強化により泉佐野市への新しい人の流れをつくる
基本的方向 観光による交流人口の拡充
具体的施策 ③インバウンド観光による交流人口の拡充
事業名 観光振興事業(まち処運営事業ほか)
【最終予算額:60,716千円】 【決算額:60,716千円】見込 日本背に府観光局から認定された2カ所の外国人観光案内所(観光交流プラザ りんくうまち処・観光情報プラザ 関空まち処)の運営。関西国際空港の玄関都市としての好立地を生かし、国内外の観光客の増加を促すことで、地域内の雇用創出等を含めた経済波及効果のさらなる向上を図る。

		①目標事項	:インバウン	ノド観光客数						
		KPI	:5年後に3		<u> </u>					
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
		数 値	110万人	210万人						
		達成率	_	70.0%						
		②目標事項	:外国人延/	で宿泊者数			•	•		
計画		KPI	:5年後に8	80万人						
	目標		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
Р	事	数値	67万人	102万人						
\downarrow	項 •	達成率	_	127.5%						
実	進	③目標事項	:手ぶら観み	光利用者数						
施	捗	KPI	:5年後に1	6,200人						
D	状況		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
)	<i>11</i> L	数値	_	17,494人						
		達成率	_	107.9%						
		④目標事項:まち処利用者数(外国人利用者数)								
		KPI	:5年後に2	Т			T	1		
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
		数値	86,697人							
		達成率 【27年度記	— V/# \	53.9%						
	評			の訪日旅行に	ブーム及びイ	ンバウンド	(訪日外国人	、観光客)が	増加の一途	
	価	担当課評価	をたどって	いることから	 国の方で 	も想定して	ハる目標数値	草を上回って	いる状況で	
	$\widehat{}$	01 145	めり、本巾 た、観光客	にめざまし(増加に伴い)	して、回様に 也域での消費	.佰汨百剱寺 喚起も増え	_{も増加の一遠} つつある。	途をたどって	いる。ま	
	C	Α								
				Da. + 1**						
	改		こおける取り約 さらなる観光		け. インバワ	<u> </u>	がかとした観	光客の受入れ	7.環境整備	
平成	善		むことで、え				0,000	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	ONCOLEMA	
27	A									
年										
度		【評価等に対	寸する意見】							
	丢									
	安昌	委員会 評 価								
	会	01 100								
	委員会意見									
	元									
	^	. 0 # 111	に進捗しては	n/o = = ±		+ NI/ 1// N//				

- A : 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。 B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E:目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

担当課	まちの活性課
	O 2 47 14 14 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11

基本目標	②定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる
基本的方向	観光による交流人口拡充
具体的施策	③インバウンド観光による交流人口の拡充
事 業 名	交流型滞在ツアー造成事業
事業概要	【最終予算額:2,000千円】 【決算額:2,262千円】見込本市域内を巡る交流型滞在ツアープログラムを造成することで、交流人口の増加、地域経済の活性化を図る。

		①目標事項	:地域内にお	ける経済波	及効果				
		KPI	:5年後に8	30億円以上	•				
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
計		数値	_	68億円					
画		達成率	_	85.0%					
<u>С</u>	標	②目標事項	:						
P)	事項	KPI	:						
↓	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
実 施	進 捗	数値							
他	拔	達成率	_						
D	況	③目標事項	:						
		KPI	:						
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率	_						
	=	【27年度記							
	評価	担当課	地域内にある ツアー名 ち	が観光資源を活 あるみ創生神	5用した旅行会 神楽モニター/	ミ社と連携した バスツアー	ニモニターツァ	ノーを実施	
	$\overline{}$	評価	旅行企画実施 実施日	NPO法人 10月24	泉州佐野に	ぎわい本舗			
	C	Г	コース		紅花染体験と			「村を歩く	
		В				。 道渓谷を歩く 動の国宝多年	、 ☑塔ご紀貫之伝	示説を訪ねる	
			おける取り組						
平	改 善	今後、モ	ニターツアー	-を踏まえた	ビジネスモ	デルの構築等	について検	寸	
成	$\overline{}$								
27 年	Α								
度)								
/		【評価等に対	する意見】						
	委	委員会							
	委員会意	評価							
	云音								
	見								
	^	· 日梅いト	lc\#+はして+	NO - 0+	+ 4W4±1 - 7 3	ち光た状とす	- フ		

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

基本目標②定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる

平成 27 年度分

会意見

扣坐運	道路公園課
1 担当体	追ばが国际

基本的	的方向	観光による交流人口拡充							
具体的	的施策 ③インバウンド観光による交流人口の拡充								
事業	美 名	観光周遊バス運行事業							
事業	「最終予算額:2,516千円」 【決算額:2,407千円(見込)】 地域の魅力の向上、交流人口の増加、滞在時間の延長、地域経済の活性化を図る目的で、本市域内にある観光資源や商業施設を巡回するバスを運行する。							を図る目	
		①目標事項	•						
		KPI	<u>.</u>						
			· 現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
計		数値	SINCE	2110	2012	20 1/2	3312	3112	(A) (C)
画		達成率	_						
<u> </u>	標	②目標事項	:						
Р	事項•進捗状	KPI	•						
↓			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
実施		数値							
		達成率	_						
D	況	③目標事項	:						
		KPI	:				1	1	
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率 【27年度評	— 価】						
	評			バスは12月	からの運行で	であったが 、	目標数値()	H28年3月 a	きでに
	価	担当課 評 価			き。(1,453				
	(C)								
	\odot	В							
		【28年度に	おける取り組]みなど]					
117	改 善				努めていく。				
平 成	当 (
27 Æ	Α								
27 年 度	<u> </u>								
		【評価等に対	する意見】						
	委員	委員会 評 価							

A :目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

担当課	まちの活性課
	O 2 47 14 14 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11

基本目標	②定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる
基本的方向	観光による交流人口拡充
具体的施策	③インバウンド観光による交流人口の拡充
事 業 名	地方版MICE誘致推進事業
事業概要	【最終予算額:3,024千円】 【決算額:2,262千円】見込 関西国際空港の玄関都市としての好立地を生かし、国際会議等のMICEを誘致・開催 することで、地域内の雇用創出等を含めた経済波及効果を生み出し、ひいては都市の 競争力・ブランドカ向上を図る。

計画 (P)			1目標事項	:地方版MIC	CE誘致件数					
数値 - O 達成率 - O.0% ②目標事項:			KPI	: 5年間で2	 件					
直 達成率		1		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
画 目 達成率 - 0.0% 2目標事項:	<u></u>		数值	_	0					
P 事項 接施 現状値 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 備書 遊校 連成率 - 30年度 30年度 31年度 備書 現状値 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 備書 製値 違成率 - 31年度 備書 27年度評価 27年度はMICE誘致推進に向けた調査を実施。	画 目		達成率	_	0.0%					
→ 現状値 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 備老 数 値 達成率 - 31年度 28年度 29年度 30年度 31年度 備老 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 備老 数 値 違成率 - 31年度 64年度 29年度 30年度 31年度 備老 27年度評価 27年度はMICE誘致推進に向けた調査を実施。			②目標事項	:						
・ 選抜 値 数 値 図目標事項: KP :	나	尹 頂	KPI	:						
施	↓ •	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
送成率	医 追		数值							
フライ (1) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	△ 丨 划		達成率	_						
KPI: 現状値 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 備老数値 証成率 - (27年度評価) (27年度はMICE誘致推進に向けた調査を実施。	D 汎	況	③目標事項	:						
数 値 達成率 - 【27年度評価】 評 27年度はMICE誘致推進に向けた調査を実施。			KPI	:						
達成率 - 【27年度評価】 評 27年度はMICE誘致推進に向けた調査を実施。				現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
【 2 7 年度評価】 評 27 年度はMICE誘致推進に向けた調査を実施。			数値							
評 27年度はMICE誘致推進に向けた調査を実施。										
┃	==	=π	【27年度記		○□無ふけばとは	一向けた細木を	5.宇佐			
	荷	。" 価		MICEは、地	域経済への波	及効果が非常	に高く、雇用	創出が期待で	きるツールの	ひとつに挙
┃		\frown	5 1 1Ш	げられている を活かすこと	ことから、E で、泉佐野市	国際空港の玄関 5におけるMIC	関都市というご と誘致の課題	Z地条件にある や可能性、マ	る泉佐野市の7 ーケティング	ベテンシャル やターゲ
マイングも含めたMICE誘致に向けた戦略策定、MICE誘致した場合における地域経済への 大イングも含めたMICE誘致に向けた戦略策定、MICE誘致した場合における地域経済への 及効果などを測定・分析により、地域経済への効果測定のみならず、地域内の雇用の創出	16	$\stackrel{\circ}{\mathbb{C}}$	D	ティングも含	めたMICE誘	致に向けた戦	略策定、MIC	E誘致した場合	合における地は	或経済への波
			ט			-みり、地域だ	ま)月へ0.7300未済	以たいかなりら	7、1813(1907)作	単円の創立も
【28年度における取り組みなど】 改	بح	2.⁄7				TT-1-411-		NIV 	- ,	
	平 ∌	善善	今後、 調	査結果を分 析	TU, MICE	誘致に回げ(本格的に事	業を進めて行	J<.	
成										
27 A 年 一	<i>1 (</i>									
度	度		「三本生」こと	# オフ辛日 】						
【評価等に対する意見】			【評価寺にX	19 0思兄』						
委 委員会	3	委								
		貝会	評 価							
	元	意		1						
	5	見								

A :目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

担当課	まちの活性課
-----	--------

基本	日標	②定住魅力	1の強化に。	より泉佐野市	もへの新し	ハひとの流	れをつくる				
		②定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる 観光による交流人口拡充									
	り施策										
事業											
∌ ∃		【最終予算		千円】		【決算額:		千円】			
					シャルを活ん				シティプ		
事業	概要		空港玄関都市としてのポテンシャルを活かし、地元航空会社等と連携したシティブローニーション等を実施し、市の観光地としての知名度向上や国内・外国人旅行客の集								
5 -1.5		客を図る。									
		①目標事項									
		U日標事項 KPI									
		KP I	<u>· </u>	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			
		数値	以 水恒	21年段	204段	294段	304度	314段	佣气		
計画		達成率									
$\overline{}$	標	②目標事項	•								
Р)	事	KPI	•								
\downarrow	項 •		· 	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			
実	進	数値	りいハロ	乙十八	20年及	20年以	00 + /2	01年及	/ Н Э		
施	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	達成率	_								
(D)		③目標事項	:	<u> </u>	<u> </u>						
		KPI	:								
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考		
		数値									
		達成率	_								
	=177	【27年度評			2+71+	· ¬ L - + -	\	N. (1, 0, 0, 1			
	評価	担当課		ンドの消費噂 の販売)を乳		るよっなフロ	コモーショー	·ン (LCC	でのフレミ		
	■ (O)	評価	, 41988	-5/1/2/07	(110 0 700						
		C	\overline{C}	C	J						
		В									
	改		おける取り組								
平	改善	海外プロ [:] て検討する。		かパワーブロ	ガー等の招調	咢等による本	市の認知度	向上等の取組	はみについ		
成	$\overline{}$,								
27 年	А 										
年 度		【評価等に対	オス音目								
		「計画寺にな	19 公忠兄』								
	委员	委員会									
	委員会意	評価									
	意										
	見										

A :目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。 C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

基本的方向外国人にやさしいまちづくり

基 本 目 標 ②定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる

平成 27 4	年度分
---------	-----

	担当課	保健センター
--	-----	--------

具体的	的施策	④国際医療交流の拠点づくりの推進								
事業	美 名	3 国際医療交流の拠点づくり事業								
事 業	概要	がん医療	【最終予算額: 千円】 【決算額: 千円】 がん医療や獣医療など地域の医療資源を活かし、海外との交流や医療機能の充実など、国際医療交流の拠点づくりに取り組む。							
		1日標事項	<u>:</u>							
		KPI	<u>· </u> 現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
= 1		数 値	以 水恒	27年段	204段	294段	304度	314段	1佣5	
計 画										
$\overline{}$	標	②目標事項	:							
Р	標事項	KPI	:							
\downarrow	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
実 施	進 捗	数値								
$\overline{}$	少状况	達成率	_							
\overline{D}		③目標事項	:							
		KPI	:	07/5/5	00/T#	00Æ#	00/T/T	0.4/5/65	/++ -> /	
		数 値	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
		達成率	_							
		【27年度訊	栖】							
	評価(担当課評価			\が、IGTク □予定である		は、がん拠点	の医療施設の)建設を進	
	C)	В								
	改		よける取り組 総合医療セン		船社団法人	MEDIATA	(イメディア	ータ)は、 タ	N.国人患者	
平 成 27	善(が来た場合		協力を行うと				行うことによ		
年度	A 									
岌		【評価等に対	する意見】							
	委	委員会								
	員	評価								
	会意									
	見									
	Α	:目標以上	に進捗してま	3り、このま	ま継続して	事業を推進す	る 。			

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。 C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

出出單	まちの活性課
但出床	ようりんに味

基本目標	②定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる
基本的方向	観光による交流人口拡充
具体的施策	④国際医療交流の拠点づくりの推進
事 業 名	健康や医療目的の訪日観光促進事業
事業概要	【最終予算額:176千円】 【決算額:176千円】見込 医療や健康目的での観光客訪日促進に取り組む。関西国際空港の玄関都市として、国際医療 交流の推進及び訪日外国人へのホスピタリティや地域魅力の向上による訪日促進を目的に、り んくうタウン及び泉佐野市域は国から特区認定を受けている。その一環として、国が行う通訳 案内士とは別に、特区内限定で通訳案内ができる特区ガイドを育成し、地域内の雇用創出等を 含む経済波及効果を生み出し、ひいては都市の競争力・ブランドカ向上を図る。

		①目標事項	:特区案内:	登録者数					
		KPI	:5年後に1	00人					
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
計			25人	52人					
画		達成率	_	52.0%					1
<u> </u>	標	②目標事項	:						
Р)	事項	KPI	:						
\downarrow	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
実 施	進	数値							
池	捗 状	達成率	_						
D	況	③目標事項	:						
		KPI	:						
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率	_						1
		【27年度評				•		•	•
	評	担当課			旨定されたり				
	価(評価			よる魅力ある 、英語40人				特区条内工
	C								
		В							
		【28年度に	上 おける取り組	みなど					
717	改				特区の優位	生を見出せる	よう取組み	を実施してい	۱<.
平 成	善								
27	À								
年度	_								
及		【評価等に対	する意見】						
	-								
	委員	委員会 評 価							
	会	и і іш							
	会意見								
	兌								
	1								
					き継続して				

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

基本目標 ②定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる

平成 27 年度分

担当課	保健センター
Ⅰ 担当課 Ⅰ	保健センター としゅう くんりょう しゅうしん しゅうしん しゅうしん しんしん しんしん しんしん しんしん

基本的	力方向	外国人にやさしいまちづくり							
具体的	的施策	④国際医療交流の拠点づくりの推進							
事業	* 名	国際医療さ	 際医療サポートセンター事業						
「最終予算額: 千円」						る医療通訳 住外国人は	もとより、		
		小口墙市 话	:医療通訳育	S ct; 米h					
		KPI	· 医療通訊 F : 5年後に2						
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
= 1		数値	75人	77人	204皮	294皮	304皮	314皮	佣兮
計画			75/	38.5%					
	標		・遺隔医療領		<u> </u> 一ク医療機関	月 5月光7	<u> </u>		
Р	事	KP I	・		ノ区原成	~J &A			
\downarrow	項 •		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
実施	進	数値	1機関	1機関	20+13	20+12	00+12	01+12	, and
	捗 状	達成率	—	2.0%					
(D)	況	③目標事項	:	2.070		L	<u> </u>	<u> </u>	
	,, ,	KPI	:						
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数 値							
		達成率	_						
		【27年度評					<u> </u>		
	評価(担当課評 価	うち現地実	習をりんくう っている(乳	う総合医療セ ミ習修了者2:	ンターが担 _つ 1名)。遠隔	うことで、育 孫医療通訳ネ	成講座を開催 所成に向けた! ットワーク医	取り組みを 療機関数
	C	В		通信網や技術	前面、費用面			隔通訳を行う はi-padを活	
			おける取り組		キにもいっても	旧地由羽た	コキ巫什フラ	マウズキフ	フの中版フ
平成 27 年度	改善(A)	医療通訳講座については、28年度においても現地実習を引き受ける予定である。その内修了者に対して、本センターで活躍していただけるように働きかけていく。遠隔通訳に関しては、本センターの通訳件数は訪日外国人の増加に合せて、26年度862件に対し、27年度は1,402件と飛躍的に伸びている。そのため夜間救急に病院を利用する外国人患者数も増え、時間外の対応が喫緊の課題である。また平成28年4月より民間事業者と連携し、インターネット回線及び専用端末を使用したテレビ会議システムによる通訳サービスを実施している。28年度以降の新たな総合特区計画の進捗に合せて、目標値を変更する予定である。							
	委	【評価等に対	する意見】						
	委員会意	委員会評価							
	意見								

A :目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B:ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。 C:目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

担当課	まちの活性課
担当課	まちの沽性課

基本	目標	②定住魅力	②定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる						
基本的	力方向	観光による	現光による交流人口拡充						
具体的	的施策	4国際医療	愛流の拠点	iづくりの丼	 隹進				
事業	美 名	ホスピタリ	リティ・地域	域魅力の向_	 上事業				
		【最終予算		千円】			千月		
訪日外国人が空港に最初に触れ、最後に訪れる地域として、外国人へのホスピタリティや域魅力の向上を図り、外国人の訪日促進につなげる。りんくうタウン及び泉佐野市域は国力特区認定を受けており、その事業の一環として、国が行う通訳案内士とは別に、特区内限定通訳案内ができる特区ガイドを育成することで、地域内の雇用創出等を含めた経済波及効果生み出し、ひいては都市の競争力・ブランドカ向上を図る。					ば国から 内限定で				
		①目標事項	:特区案内士	登録者数					
		KPI	: 5年後に1	00人					
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
計		数值	25人	52人					
画	且	達成率		52.0%					
<u> </u>	標	②目標事項	:						
P	事項	KPI	:						
↓	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
実施	進 捗	数値							
	状	達成率							
D	況	③目標事項	:						
		KPI	:	•	•			•	
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率	_						
	評	【27年度評		年12日に増	宝定されたり	んくうなウン	·/t∰täøt∰tä		は区につい
	価(担当課 評 価	て、関係機関	関と連携によ		地域づくりに	こついて検討	すを重ねた。特	
	C)	В							
	2/7		おける取り組						
平 成 27 年	改善(A)	広報等に	より、より-	-層の周知に	努め、研修等	等の実施によ	り登録者の	増加に努める	ò.

【評価等に対する意見】

委員 委員会 評価 会意

克

度

A :目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。 C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

ı		1 1 - A-11 - TT
	担当課	まちの活性課

基本目標	③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
基本的方向	結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実
具体的施策	①若い世代の経済的安定
事 業 名	地域就労支援事業(再掲)
事業概要	【最終予算額:5,629千円】 【決算額:4,666千円】 働く意欲がありながら雇用や就労を実現できない就職困難者等に対し、地域就労支援事業の活用、相談、資格取得講座への誘導等を行い、一人でも多くの就労の実現に向けて支援をする。
	①日標事項・若者(20~34歳)の就業率

		①目標事項	: 若者(20)~34歳)	の就業率				
		KPI	:5年後に7	7%					
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
計		数値	67.0%	_					国勢調査 結果によ
計画	目	達成率	_	-					可来によ
(P)	標 事	②目標事項	:						
	項	KPI	:						
	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
実 施	進 捗	数値							
	状	達成率	_						
(D)	況	③目標事項	:						
		KPI	:						
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率	_						
	=107	【27年度評		こっち フルけ	* ************	\ D C +\(\)	マー おがわ		ていつが
	評価	担当課	PM3/// 相談件数は:		就労支援セ: はい傾向。	ンターにおい	16、 别为怕	談を実施し	(いるか、
		評価							
	C	В							
	ᄀᄸ		おける取り組						
平	改 善	相談者の	状況に応じた	こ、きめ細や	かな支援がて	できるメニュ	ーを提供し	ていく。	
成	$\overline{}$								
27 年	А _								
度)								
		【評価等に対	する意見】 						
	委	委員会							
	委員会意見	評価							
	云意								
	見								
	Λ	· ロ描い L		νη - π±		ち光ち光光さ			

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

基本目標 ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

平成 27 年度分

委員会

委員会評 価

担当課	保健センター

基本的	的方向	結婚•妊娠	吉婚・妊娠・出産・子育て支援の充実						
具体的	り施策	②妊娠•出	②妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援						
事業	業 名	不妊治療費	 動成事業						
]		【最終予算	額: 8,00			【決算(見	記)額:3	3,876千円)	
		不妊・不	育治療を受	とけた夫婦(の経済的な	負担を軽減	するため、	検査や治療	に要する
事 業	概 要		16年10日 10日 10日 10日 10日 10日 10日 10日 10日 10日			ル日G貝担領	頭のと方の	1で、1カ	4段3万
		. 5 0 1 500		1,20, 01	v J 🔾 0				
		①目標事項	:不妊治療費	貴助成対象出	生件数				
		KPI	: 5年間で1	〇〇件					
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
計		数値	_	3件					
画		達成率	_	3%					
P	標事	②目標事項	:						
<u>'</u>	耳頭	KPI	:						
↓	• \ //		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
実 施	進捗	数値							
$\overline{}$	状	達成率	_						
D	況	③目標事項	:						
		KPI		07	00	00/===	00	0.45	/++ -
		N/4 /+	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率 【27年度評	— 延備】						
	評			取り組みでは	あり、このま	ま継続実施し	<u>していく。</u>		
	価	担当課評価							
	(C)								
		В							
		【28年度に	おける取り組	コルたど					
777	改		-0317る取り型 く、理解して		努めていく。				
平 成	善								
27	A								
年 度	<u> </u>								
132		【評価等に対	評価等に対する意見】						

A :目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

担当課	保健センター

基本目標	③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
基本的方向	結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実
具体的施策	②妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援
事 業 名	母子保健事業
事業概要	【最終予算額:105,392千円】 【決算(見込)額:102,610千円】 妊産婦・乳幼児の健康の保持増進を図るため、健康診査や保健指導を行う。また、安心して妊娠・出産・子育てができるように相談支援等を行う。

		①目標事項	:						
		KPI	:						
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
計		数値							
画		達成率	_						
P	標 事	②目標事項	:						
$\overline{}$	項	KPI	:						
↓	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
実施	進 捗	数値							
$\overline{}$	状	達成率	_						
D	況	3目標事項	:						
		KP I	: 	075#	00/7	00/5/5	00/5/5	0.455	/++ -1-/
		*h l=	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率 【27年度記							
	評	担当課	従来から					待予防など	
	価(評価	ていく。参 [:] 診643人、	考として、4 乳児後期健認	≠成26年度0 診693人、4	D実績として Lヶ月健診73	、吐婦健診 32人、1歳6	1,246人、乳 3ヶ月健診72	4児一般健 29人、3歳
	C		■6ヶ月健診817人、2歳歯科健診689人、経過観察健診278人、精密健						
		В	なっている。						
		【28年度に	<u> </u> おける取り組	みなど】					
平	改 善		F度から、産						
戍) [心しく助産 便性を高め	師等が対応す るために、近) る「座俊と <u>「</u> 隣市町と広	週间サホー 域的に実施す	ト事業」を送 する。	上	で美施する。	中氏の利
27 年	Α								
年 度)								
		【評価等に対	する意見】 						
	委	委員会							
	員	評価							
	会意見								
	見								
	_		に進捗してお	310 C C +	+/111/4-1	+w++w+			

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

基本的方向結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実

事業名乳児家庭全戸訪問事業

具体的施策 ②妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

基 本 目 標 ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

平成 27 年度分

担当課	保健センター
-----	--------

事業	概要	子どもの	額:2,53)健やかな原 助産師等な	は長と保護者	者の子育で 育児に関する	を支援する	ため、生後	2,034千円) 4か月まで 重測定など	の乳児の
		①目標事項	:						
		KPI	:						
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
計		数値							
画		達成率	_						
(P)	標事	②目標事項	:						
.) -	項	KPI	:						
→	• 進		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
実 施	進 捗	数値							
$\overline{}$	状	達成率	_						
<u>D</u>	況	③目標事項	<u>:</u>						
		KP I	: 	07/5	00/7	00 T #	00/5/5	0.45	/++ -1 -/
		**	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数 値 <u></u>							
		【27年度評							
	評価(担当課評価		続して実施し	ンていく。 平	成27年度訪	i問実績:75	59件。	
	C)	В							
	公		おける取り組		性したがこ	中窓の大生	っちwっ		
平成27年度	改善(A)			まなここ 連	携しながら、	内谷の允美	色図る。		
		【評価等に対	する意見】						
	委員会意見	委員会評 価							
	意見								
	Δ	:日標以上	こ進捗してお	らり、このま	ま継続して	事業を推進す	る。		

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

基本的方向結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実

具体的施策 ②妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

基 本 目 標 ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

E:目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

平成 27 年度分

担当課	子育で支援課
ᆲᆖᇠ	

事業	巻 名								
事業	概要	養育支援 を有する子	ども家庭す	更であると [*] ナポーター!		庭に対し、 員が、その	居宅を訪問	専門的知識 し、養育に	
		1目標事項							
		UEI標事項 KPI	•						
			· 現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	 備考
計			3017(IC	2112	2012	20 1/2	33 1/2	3112	M10 3
画		達成率	_						
(D	標 事	②目標事項	:						
P)	項	KPI	:						
→	• \#		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
実施	進 捗	数値							
$\overline{}$	状	達成率	<u> </u>						
D)	況	③目標事項 KPI	•						
			<u>·</u>	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	 備考
		数 値	カロハロ	乙十八	20千汉	20年及	00年及	01年及	/H Э
		達成率	_						
	=117	【27年度評		· ·	±	~ = = 1-1c			~~+C!!! ~
	評価	担当課						を安の解消、 が図られている	
	$\overline{}$	評価	(平成27年		対象家庭:1				
	C)	В							
	改		おける取り組 増員し、体制		る。また、i	・	対する傾聴.	、助言及び指	3導ができ
平 成	善(るよう支援						訪問事業の充	
27	A	る。							
年度)								
/又		【評価等に対	する意見】						
	委	委員会							
	委員会意見	評価							
	意								
	見								
					ま継続して事業				

基本的方向 結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実

基 本 目 標 ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

平成 27 年度分

担当課	人権推進課

具体的	的施策	②妊娠•5	②妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援								
事	業 名	総合相談事	業(行政等	相談事業(行	丁政相談を除	(く) 相談事	業、男女共	同参画サポ	ート事業)		
事業	概要	外国人ヤ をはじめ、	算: 220° 5ハイリスク 出張相談な いして暮らせ	7妊婦、障害 9時間外相。	炎 、 通訳等(等への医・ の同行など		する生活情			
		①日煙車 頂	:総合相談件	十米灯							
		KPI		F数 3,080件/5							
			現状値	27年度	- 28年度	29年度	30年度	31年度	備考		
=1		数値	2,735件	2,800件	20十汉	20十汉	00+12	017/2	27年度		
計画		達成率		90.9%					数値見込 み		
$\overline{}$	標	②目標事項	:	00.070			<u> </u>	<u> </u>	105		
P	事項	KPI	:								
\downarrow	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考		
実	進	数值									
施	步 状	達成率	_								
D	況	③目標事項	:								
		KPI:									
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考		
		数値									
		達成率	_								
		【27年度記		甲かヱ斉てき	5摇钟。促健	センター生	からの相談依	油に トル	名粉の海雑		
	評価	担当課評価	な相談ケー窓者、ホー	スに対応して ムレス等の語	てきた。特に 果題を抱える	妊産婦や乳炎 方や、DV、	如児、未成年 虐待被害者	者、精神疾等ほぼ全件	患、生活困について適		
	C	В	期から「外 めた。さら	国人のため⊄	D相談」等の W相談等も格	定期開催(対	母子等の相談 は催)により 警察署との連)、相談窓口	の周知に努		
<u> </u>	改		おける取り組		エスナフィー	- AW-15					
成 27 年 度	S 善 (A)	に、障害者	期インテーク 差別解消法や 応していける きたい。	ロマタニティ	・ハラスメン	ント等、増え	つつ新たな	課題に対して	ても、適切		

A : 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。 C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

【評価等に対する意見】

委員会

評価

員

会 意見

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

基本的方向結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実

基本目標 ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

平成 27 年度分

扫当課	障害福祉総務課

具体的	り施策	策 ②妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援									
事業	1 名	当 地区福祉委員会活動支援(ふれあいのまちづくり事業)									
事業	概要	地域にお	【最終予算額: 千円】 【決算額: 千円】 地域において子育て世帯が孤立することなく、子育てに関する相談や親子の仲間づくりを目的とした子育てサロン活動(地区福祉委員会主催)の支援を行う。								
		①目標事項	:子育てサロ	コン実施箇所							
		KPI	:5年後に1	5か所							
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考		
計		数値	15か所	15か所							
画		達成率	_	100.0%							
(D	標事	②目標事項	:子育てサロ	コン開催回数							
Р)	項	KPI	:5年後に3	340回/年							
↓	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考		
実 施	進 捗	数値	316回/年	集計中							
/地	火	達成率	_								
D	況	③目標事項	:								
)		KPI	:								
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考		
		数値									
		達成率	_								
		【27年度評						1 + 1 +-			
	評価	担当課評 価	催により、 うことで、	子育て中の約 子育て中の約	Fと同様の箇 見子が参加し 見子が地域で	、地域のボラ 孤立してしる	ランティなど まうことを防	と一緒に交流 近すること	流活動を行 ができた。		
	(O)	В	に陥ってし	まうことを防	ਔみなどを相 5止すること 域もあり、そ	にもつながっ	っている。特	に近年では、	、若い子育		
)	非常に大き		a 0007-91 C	V)(V) () () () () () () () () () () () () ()	3 C 10 () F	, () [] 0 0 0 0 1	元正の木は		
777	改		おける取り組		センチネプ	レザサフ	10 - K+BB	市佐笠しの旨	5.1维十四 -		
平 成	善	- ラ俊は 、 : ていくこと	現状の美胞は で、活動の幅	ョ所 での次の 『をより充実	担い手育成る	こけせて、他ことが求めら	いことも関われる。また、	連旭束との追 、本当に支援	関係も図つ 最を必要と		
27	A	される人が [.]	サロンへ参加	『できるよう	、参加しやす	すい環境づく	りの支援を	行っていくこ	ことも必要		
年	<u> </u>	でめる。こ 支援を行っ [*]		こも踏まえく	、市としては	ま、51さ続き	を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	知と参加促進	をはいます。		
度		<u> </u>									
		<i>=</i> 0 ^									
	委員	委員会 評 価									
	会意	01 100									
	意見										
	兄										

A :目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B: ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D:目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

基本的方向結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実

基 本 目 標 ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

平成 27 年度分

課

具体的	的施策	③安心・安全な出産・子育て支援の充実								
事業	美 名									
事業	概要		額: <u>185,</u> 生までの記				186,640 る医療費の)千円】 一部を助成	する。	
		①日煙車頂	・ニども圧倒	5 弗田成动会	者数(通院)					
		KPI	· 5年後に1		日奴 (旭)					
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	 備考	
≣∔		数値	7,915人	9,019人	20 1/2	20 1/2	3312	3112	M10 D	
計画		達成率	_	64.5%						
$\overline{}$	標	②目標事項	:				<u>'</u>			
P)	事項	KPI	:							
<u>↓</u>	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
実 施	進 捗	数値								
$\overline{}$	状	達成率	_							
D	況	③目標事項	:							
		KPI	:	075-	005	005	00	0.45	1++ -+-	
		*	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
		数 値 達成率								
		達成率 【27年度評								
	評価(担当課評価	府下では、					を実施していた。		
	O)	В								
	改		おける取り組		小台4年4	10円半り生	ナ ニ でから	エ脸のコキレ	げたない	
平 成	善 (∓齢の引き上 一層の軽減を		
27 年	A 	13 CC 00								
度		【評価等に対	する意見】							
	委員	委員会評価								

A :目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

会 意

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

基本目標 ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

平成 27 年度分

基本的	力方向	句 結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実									
具体的	り施策	n施策 ③安心・安全な出産・子育て支援の充実									
事業	美 名	名 ひとり親家庭医療費助成事業									
			額:80,0				78,192				
		ひとり親家庭における18歳の年度末までの児童及びその児童を養育する親の入通									
事業	概 要	阮に徐るB	完に係る医療費を助成する。 								
		①目標事項 KPI	•								
	目標	NP I		07年度	00年度	00年度	20年度	04年度	/# .		
		жь <i>I</i> +	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考		
計		数値									
画(達成率									
Р	事	2目標事項	•								
	項	KP I	·	07/= #	00/5	00/5/5	00/5/5		ı++ -+ -		
↓ •	• 進捗状況	N/ - /-	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考		
実 施		数値									
\frown		達成率	_								
D		3目標事項	<u>.</u>								
		KPI	:		I			I I			
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考		
		数値									
		達成率	— (#)								
	評価(C)	【27年度評		家庭の医療書	まの一部を助	成することに	こより、ひと	り親家庭の個	建康保持や		
		担当課評価	生活の安定	が図られてい	いる。				EW(N() 2 (
		o† IW	(平成27年	三	助成件数:2	29,734件。					
		R									
	改		おける取り組		±V;#!= 0 + =			中に奴ょっ			
<u> </u>	善善	51さ続き、 	、刈冢首のと	医療質の負担	軽減につなれ	いるよつ、追	國切は周知案	凶に努める。			
成											
27 年	A										
年 度		Family Action	1-1-2-2-1 1-1-2-2-1								
		【評価等に対	」9 る恵見】								
	委	委員会									

A :目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B: ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

評価

会意

D:目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

其 木 日 煙 ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

平成 27 年度分

担当課	子育て支援課
-----	--------

_ '			4424070 0	<u> </u>	() / C /	• 0., • 0					
基本的	本的方向 結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実										
具体的	的施策	策 ③安心・安全な出産・子育て支援の充実									
事業	* 名	名 幼児教育・幼児保育									
事業	【最終予算額:2,112,588千円】 【決算額:2,085,961千円】 教育または保育を必要とする児童に対し、質の高い教育・保育を行い、待機児童数事業概要										
		①目標事項	:								
	目標事項・進捗状	KPI	:								
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考		
計		数値									
画		達成率	_								
(P		②目標事項	:								
-		KPI	:								
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考		
実施		数値									
		達成率	_								
D	況	③目標事項	:								
		KPI	:								
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考		
		数値									
		達成率									

所得状況に応じた保護者の経済的負担の軽減と、公・私立幼稚園間の保護者負担

の格差是正を目的に、幼稚園の入園料及び保育料を軽減している。また、保育に欠ける保護者からの申し込みにより、入所判定会議を経て入所児童を

C B

価

改

善

Α

見

亚

成 27

年度

【28年度における取り組みなど】

引き続き、待機児童数ゼロを堅持する。

【評価等に対する意見】

【27年度評価】

担当課

評価

委 | 委員会 員 | 評 価 会 | 意 |

> A :目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。 B : ほぼり煙どおりに推供しており、繰続して事業を推進する。

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C : 目標をやや下回っており、要因の分析を要する。 D : 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

決定し、保育料の徴収を行い、保育を実施する。

基本的方向 結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実

基 本 目 標 ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

平成 27 年度分

担当課	子育で支援課
ᇐᆖᇠ	

具体的施策		③安心・安全な出産・子育て支援の充実								
事 業 名		地域における子育て支援サービス								
事業	概要	【最終予算額:12,295千円】 【決算額:12,009千円】 地域子育て支援拠点事業(地域子育て支援センター)やファミリーサポートセンター事業など、在宅で保育を行う家庭を含むすべての子育て家庭に対して、利用者のニーズを踏まえながら必要な支援を行う。								
		①目標事項	•							
		KPI	19.比法	07年度	00年度	00年度	20年度	04年度	/# . #	
		数 店	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
計画	目標事項	数 値 達成率								
		②目標事項								
Р)		KP I	<u>:</u>							
\downarrow	· 坦		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
実 施	進捗状況	数値	2017(IE	2112	2012	2012	33 1/2	3112	NO O	
施		達成率	_							
D		③目標事項	:			•	•	•		
		KPI	:							
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
		数値								
		達成率	_							
	評	【27年度評		・子育て家庭の)衣流・連進を	医図る講座や催	半し等を宝施し	, 地域におけ	ナス子育で支	
	語価(C)	担当課 評 価	援を推進する	,)。						
		o † IW	(平成乙/平)		子育て拠点事	つくしん	ぼ 利用	者 619組 者5,016組	相談数30件相談数39件	
		R		ファ		講座件数:78参加者数:44		5) 370 J	(こども)	
			- to 1 1 7 7 7 10 65	22 13						
_	改善		: おける取り組 利用者の-		えながら必要	要な支援を行	<u> </u>			
平 成		31011010	. 15/15 [0 0 2 2		76.00.0 32.13	2.021% 613				
27	A									
27 年 度)									
		【評価等に対	する意見】							
	委員会意見	委員会								
		安京云 評 価								
	見									

A :目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

基本的方向結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実 具体的施策 ③安心・安全な出産・子育て支援の充実

基 本 目 標 ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

平成 27 年度分

	担当課	学校教育課
--	-----	-------

事業	美 名	放課後児童	章対策事業						
		【最終予算	額:119,	996千円】		【決算額:	119,484	千円】	
								児童に、遊	
事 業	概 要	の場を提供 	もし、平成と	2 / 年度から	つは新/こに	学びのノロ	ソフムを導	入している	0
		①目標事項	•						
		KPI	•						
		NF I	<u>·</u>	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
		** 店	坑 扒但	27年度	204段	29年辰	30年度	314段	佣5
計画		数 値 							
	目標	全月標事項 ②目標事項	<u> </u>						
Р)	事		· :						
	項 •	NP I		07年度	00年度	29年度	20年度	31年度	/# -
実	進	数 値	現状値	27年度	28年度	29年辰	30年度	314段	備考
実 施	捗								
((状況	達成率 ③目標事項	<u> </u>						
<u>D</u>	兀	SEI KPI	•						
		NP I	<u>· </u>	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
		* 店	坑 扒但	21年段	28年段	29年度	30年度	31年度	佣名
		数値							
		達成率 【27年度評							
	評	担当課	保護者就					童(5月1E	
	価	223味 一部	点登録児童	数:898 <i>)</i> できた	() に対し、	遊びや生活の	の場を提供し	、児童の健?	全な育成を
	(C)		また、学	習支援プログ	ブラムを取り	入れたことに	こより、学習	意欲を醸成	することが
	\mathcal{L}	В	でき、併せ	て宿題時間の	D確保を行う	ことができた	こ。		
		「このケー	ナルフェルダ	コッたじ					
	改		よける取り組 は当該事業を		- 初年度でも	あり、学習 [:]	支援プログラ	5ムの実施内	容につい
平 成	善	て、市教委	と受託事業者	るとの調整や	保護者が希望	望する実施内	容とのギャ	ップに課題た	があった。
27	A							受託事業者か 、受託事業者	
年度) \(庭児童会を開	
岌		【評価等に対	する意見】						
	_								
	委員	委員会 評 価							
	会意								
	意								
	見								
	A R	: 目標以上 : ほぼ目標	に進捗してオ どおりに進想						
	ט	・ころころローボー	このプに進済	y し しいり、	w☆wいし しまき	と に ヨヨドラ タ	, o		

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

E:目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

平成 27 年度分

委員会

委員会 評価

	10 -
担当課	教育総務課

基本的	的方向	結婚•妊娠	最・出産・∃	子育て支援の	の充実				
具体的	り施策	③安心·罗	全な出産・	・子育て支持	爰の充実				
事業	* 名	安心安全な	· 小学校給食		ノルギー対応	心食提供)			
,=====		【最終予算	算額:1,14	4千円】		【決算額:	28千円]	
		従来の食	物アレルコ	ドー対応(乳・卵)に	加え、副食	に乳または	卵が含まれ	る場合に
事業	概 要	土艮を艮/	、易くするこ	_こを目的(こして、副	艮(佃魚独)	やンヤム寺)を提供9	්
		①目標事項	: アレルキ	ニー対応率					
		KPI		100%					
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
計			72.7%	67.8%					
曲		達成率	_	67.8%					
((標	②目標事項	:				•		
Р	事項	KPI	:						
\downarrow	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
実施	進	数値							
他	步 状	達成率	_						
D	淣	③目標事項	:						
		KPI	:						
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率	_						
	≡π	【27年度評		金石上回 . 10		リゼ 左共-	つ旧辛が夕い	トラ ション・ファ	1フたい
	評価	担当課	副食に乳・!	卵を含む献で	7を控えてい	る傾向にあり	ります。よっ	1と認識して() て、平成2 [*]	
	$\overline{}$	評価	期からの実施	績で2~3	(回/月)程	度、補食を払	是供している	が状況です。	
	C		平成と(中) 行いたいと		しての利用	夫領や子校は	兄场の思兄を	集約し、事	果の方例を
	改		おける取り組				2/2/		
平	善善	平成2 <i>个</i> 	年度と同様に	_補食の種類	も模索しなれ	いら改善を図	りたいと考	えます。	
成	$\overline{}$								
27 年	A 								
度		「証価等に対	 						

A :目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

平成 27 年度分

扣坐讄	数苔级浆理
担当課	教育総務 誄

基本	目標	③若い世代	3若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる								
基本的	的方向	結婚•妊娠	吉婚・妊娠・出産・子育て支援の充実								
具体的	的施策	③安心•安	全な出産・	・子育て支持	爰の充実						
事業	業 名	安心安全な	中学校給食	事業(アレ	ノルギー対応	心食提供)					
事業	事業名 安心安全な中学校給食事業(アレルギー対応食提供) 【最終予算額:924千円】 【決算額: 21千円】 従来の食物アレルギー対応(乳・卵)に加え、副食に乳または卵が含まれる場合に主食を食べ易くすることを目的として、副食(佃煮類やジャム等)を提供する。										
		1目標事項	: アレルキ	ドー対応率							
		①目標事項 KPI	アレルキ5年後に								
					28年度	29年度	30年度	31年度	備考		
計			: 5年後に	100%	28年度	29年度	30年度	31年度	備考		
計画		KPI	: 5年後に	.100% 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考		
画(標	KPI 数 値	: 5年後に 現状値 — —	100% 27年度 43.5%	28年度	29年度	30年度	31年度	備考		
	標事	数値 達成率	: 5年後に 現状値 — —	100% 27年度 43.5%	28年度	29年度	30年度	31年度	備考		
画(標	数 値 達成率 ②目標事項	: 5年後に 現状値 — —	100% 27年度 43.5%	28年度	29年度	30年度	31年度	備考		

[27年度評価]
評 中学校給食では小学校給食に比べると少数ではあるが、乳・卵の食物アレルギー 世当課 で持つ生徒が存在するため、副食に乳・卵を含む献立を控えている傾向にあります。よって、平成27年度2学期からの実績で2~3(回/月)程度、補食を提供 している状況です。

28年度

29年度

30年度

31年度

備考

改 平成27年度と同様に補食の

達成率

③目標事項: KPI:

数 値達成率

現状値

27年度

状

況

D

亚

成 27

年度

Α

見

平成27年度と同様に補食の種類も模索しながら改善を図りたいと考えます。

【評価等に対する意見】

A :目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D:目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

基本的方向は結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実

基 本 目 標 ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

平成 27 年度分

	担当課	保健センター
--	-----	--------

具体的	的施策	策 ③安心・安全な出産・子育て支援の充実							
事業名 泉州広域母子医療センターの充実									
【最終予算額:30,418千円】 【決算額:30,418千円】 平成20年4月より、りんくう総合医療センター産婦人科と市立貝塚病院の産婦。									
事業	概 要	をひとつの 立貝塚病院	D組織として	て統合し、 <i>り</i> 4医療センタ	りんくう総額	合医療セン	ターは「周	☑貝塚病院の 産期センタ 科医療を担	一」、市
		①目標事項	•						
		KPI	•						
			· 現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
		数 値	坑 扒胆	21 牛皮	20牛皮	29年度	30年度	31年度	- 佣乞
計画	П	達成率							
	目標	②目標事項	<u> </u>						
Р	事	KPI	· ·						
↓	項 •		· 現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
実	進	数 値	坑八世	乙十尺	20千皮	23千皮	30年皮	31千皮	m'5
施	捗		_						
(D)	状 況	③目標事項	<u>:</u>						
)		KP I	<u>:</u>						
				27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数 値	3017(12		2012	2012	3312	3112	110
		達成率	_						
		【27年度評							
	評価(担当課評 価	より、ハイ	リスク妊婦等		安心安全なる	お産ができる	別児科医の 6体制を整え ⁷ こ。	
	O)	В							
	改		おける取り組んが		51777年田才ス	スニレニトの	ハノロフカリ	出産、合併症妇	[旭] 佐安东
平	善善	生児、早期産	児等を積極的	に受け入れる	ら。さらに、救	な命救急センタ	7ーとの連携強	能化や地域医療	そ 機関と役割
成 27	A							妊産婦食やま コウノドリ」 <i>σ</i>	
五 年 度	()	なった産婦人	、科部長 荻田和	和秀医師のJA	ZZピアノ演奏			広く地域住民	
度		景の現状など	ざを知ってもら する意見】	りり機士をフト	. තං 				
	_								
	安昌	委員会 評 価							
	会	от ш							
	委員会意見								
	兄								
	^	・日播以上	に准性しては	30 = n=	ま継続して	も光た批准す	- Z		

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

平成 27 年度分

基本的方向地域医療の充実

担当課	保健センター
Ⅰ 担当課 Ⅰ	保健センター としゅう くんりょう しゅうしん しゅうしん しゅうしん しんしん しんしん しんしん しんしん

具体的	り施策	③安心•安	全な出産・	子育て支持	爰の充実				
事業	* 名	泉州南部初	D期急病セン	ノターの充乳	ŧ				
事業	概要	泉州医療 ウンにおい	額:51,3 圏南部地域)て休日にお ばにおけるを	域におけるネ 3ける急病!	患者に対する	設として 、 る診療(内	平成26年∠ 科•小児科	5 <u>1,125千</u> P 4月より、り)を行って	りんくうタ
		①目標事項	•						
		KP I	<u>:</u>						
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
計		数値	2017ILE	2112	20 1/2	20 1/2	33 1/2	3112	M 2 2
画		達成率	_						
$\overline{}$	標	②目標事項	:						
P	事項	KPI	:						
\downarrow	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
実施	進捗	数値							
他	水	達成率	_						
D	況	③目標事項	:						
		KPI	:						
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率	—						
	評価(C)	【27年度評 担当課 評価	平成26年 されたこと に診察を終	も影響し、 えることがB	見者数が急増 対難な診療日	した。インフ が多くなる ⁵	フルエンザ流 ち、関係団体	国増など通院 行期には、 等の協力を りを確保して	診療時間内 导て、臨時
		【28年度に	 おける取り組	みなど					
平成27年度	改善(A)	泉州地域(センターに) 懸案事項で 23時) の-	は、平日夜間 おいては、忿 あったが、訓	間の一次救急 É事スタッフ 関整の結果、 を1日間(オ	の確保が困難 関係団体の協 に曜日)実施	誰なことが主 協力により、 できる運びと	な要因であ ようやく、 こなった。6	は、泉州南部 る。この案件 平日夜間(2 月より開始予	は 長年の O時から

A :目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

【評価等に対する意見】

委員会 評価

委員

会

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

平成 27 年度分

基本的方向学校教育の充実

担当課	学校教育課

具体的	的施策	④児童・生徒の学力・体力の向上・キャリア教育の推進							
事業	善 名	ICT活用	教育推進	事業					
事業	** (最終予算額:4,116千円) (決算額:3,109千円) 市内小中学校に段階的にPCやタブレット等の環境の整備を行うとともに、教職員がICT機器の特性を理解し、授業において効果的に活用できる環境をつくることにより、よくわかる授業づくりと学力の定着・向上をめざす。								
				<i>₩</i> ++₽ <i>\</i>					
				○等基本操作	の省侍率				
		KPI	: 5年後に1		00年度	00年度	20年度	04年度	/# .
		*h /=	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
計		数値	_	95.0%					
画(目標	達成率	<u> </u>	95.0%					
Р	事	2目標事項	·						
\downarrow	項	KP I	·	07/5/5	00/5	00 T T	007#	0.455	ı++ → √
実	• 進	жь I +	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
施	捗	数値							
()	状	達成率							
D	況	3目標事項	<u>.</u>						
		KP I		07	00	005===	005===	0.45	1++
		N/L /±	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率	— 证						
	評	【27年度評		ト導入時に	I C T 支援員	を派遣し、 孝	数職員へのき	援と授業で	か 活用サ
	価	担当課評価	ポートをき	め細かく行っ	ったことによ	り、児童の名	タブレットの)基本操作習行	导は当初の
	$\overline{}$	от іш			ノている。ま での活用の幅			使って自ら	字はつとい
	O)	В		0.5()25(.	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			
	改		おける取り組みません		i= IT のおロ	この手上がた	ナゼナケハ	₩± <u></u> ∧,	5 /D - Ti
平	善善							、学校全体で 得に留まらす	
成 27	$\widehat{}$	ン教室とも	連動したI(を市内の学校	
年	А 	れるよう取	祖じ。						
度		【評価等に対							
		▼映画寺にXi	ラの忠兄』						
	委員会	委員会評 価							
	会意見								

A :目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B:ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

平成 27 年度分

基本的方向学校教育の充実

+D 717 =BB	尚 坛 <u></u>
担国誄	子仪 叙 月 誄

具体的	的施策	施策 ④児童・生徒の学力・体力の向上・キャリア教育の推進								
事業										
	【最終予算額:11,717千円】 【決算額:8,345千円】 子どもの学びの状況等に応じたきめ細かな指導や支援を行うことにより、子ども一									
事業	概 要	人ひこり0.	ノナノ」 • 14人	アアリーの対グ	とこと (合き	」 ↑X∪J\$X ゚ J`i	這ろうにとこし	、人的支援	し 11 ノ。	
		①目標事項	: 学習意欲の)改善						
		KPI	: 5年後に1							
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
計			80%	96.2%						
画		達成率		96.2%						
$\overline{}$	標	②目標事項	:					<u>-</u>		
P	事 項	KPI	:							
\downarrow	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
実施	進	人 数 值								
施へ	捗 状	達成率	_							
D	況	③目標事項	:							
$\mid \ \ \ \ \mid$		KPI	:							
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
		数値								
		達成率								
	≣π	【27年度評		_ カ学生ボ ニ ヽ	ノティア竿の	地域 人 おちき	 壬田1.ア 产	校が主体的に	こまりである。	
	評 価	担当課	放課後学習	やクラブ活動	かを支援した	0				
	$\overline{}$	評価	学習:登録: 回•中学校	者58名、配	置人数のべ7	7 0名・実人数	数46名、実施	施回数 小学	校397	
	C)	В			記置人数6名	、実施回数1	41回(2月	l末現在)		
	改		おける取り組		兴 +六/	て会もロロマッ	(土平)ー (二)ー	つまがもい	出るサント	
平	善善							つきがあり、 や参加の呼び		
成 27	$\overline{}$		的に実施する						, 5.0	
年	А 									
度		【評価等に対	する音目1							
		roTim す にX!	コック応孔							
	委員	委員会								
	会	評価								
	会意見		1							
	見									
						- Mr. 7				
	Λ.	・ロ挿いト	ノーソナナル・ ー・ナ	~ ~ ~ ~ ~	/NU /		. —			

A ・日標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。 D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

具体的施策 ④児童・生徒の学力・体力の向上・キャリア教育の推進

平成 27 年度分

基本的方向学校教育の充実

担当課	学校教育課

42-2

事業	《 名	る。泉佐野まなびんぐサポート事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								
	【最終予算額:8,291千円】 【決算額:4,007千円】 子どもの学びの状況等に応じたきめ細かな指導や支援を行うことにより、子ども一									
事業	概要							とにより、 、人的支援		
		10日標事項	:「全国体力	7•運動能力	、運動習慣等	空調査 1 頂日	の改善			
		0 = 10.0			<u>に</u> 小5:9.1					
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
計		数値	11.7%	11.8%						
画		達成率	_	77.1%						
(D	標事	②目標事項	:「全国体力	」・運動能力	、運動習慣等	等調査」項目	の改善。			
P)	項	KPI	:「運動がき	手」5年後	に小5:21	.2%				
\downarrow	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
実施	進 捗	数値	23.7%	21.9%						
	状	達成率	_	96.8%						
D	況	③目標事項	:							
		KPI	:							
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
		数値								
		達成率	—							
	評	【27年度評		 プログラム*	生生が旧帝な		当に派達し	スポーツ交流	 女友宝饰!	
	価(担当課評価	たほか、各	学校における	3児童・生徒	の体力向上を	をめざす取組	スホーフ文 <i>)</i> 日みに対して 、 B小学校におし	大阪体育	
	C)	В	の授業を改び・ボール:	善するため <i>0</i> 運動・鉄棒等	D指導を受け 穿)の協力を	たり、学校で得たりという	での日常的な う活動が実を	に運動の取組を に結び、大阪P	み(縄跳	
)			づくり優良校	として表彰	された。			
_	改		よける取り組 t初年度でも		5揺を希望す	る学校へある	る程度幅広く	(派遣するこ	- レができた	
平 成	善	が、28年度	まにおいては	、市教委側の	の目標や計画	[を一層明確]	こしたうえて	で、学校が実施		
27	A	をさらに精力	査し、予算を	と効果的に投	入していくる	してか必要で	: ある。			
年度)									
岌		【評価等に対	する意見】							
	丢		_							
	委員会意見	委員会 評 価								
	会									
	息見									
	, ,									
	^	· 🗆 # I.I. L.	 に進捗して#	10 - a+	ナ 4 11 4 ナ 1 - 7 7	ちゃちゃょ	· フ			

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

具体的施策|④児童・生徒の学力・体力の向上・キャリア教育の推進

平成 27 年度分

基本的方向学校教育の充実

担当課	学校教育課

事業	美 名	泉佐野また	なびんぐサバ	ピート事業							
		【最終予算額:8,291千円】									
		子どもの学びの状況等に応じたきめ細かな指導や支援を行うことにより、子ども一 人ひとりの学力・体力向上を図るため、各学校の取り組みに対し、人的支援を行う。									
事業概要 人びとりの学力・体力向上を図るため、合学校の取り組みに対し、人的文法									ر 11 ک _ه		
		①目標事項	: 「全国体力	J•運動能力	、運動習慣等	等調査」項目	の改善				
		KPI	:「運動が娘	触り」5年後	に中2:15	.0%					
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考		
計		数値	18.7%	18.2%							
画	目	達成率	_	82.4%							
P	標事	②目標事項	: 「全国体力	」・運動能力	、運動習慣等	等調査」項目	の改善				
	項	KPI	: 「運動がき	手」5年後	に中2:34	.2%					
↓	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考		
実 施	進 捗	数値	35.2%	36.4%							
\frown	状	達成率	_	93.9%							
\overline{D}	況	③目標事項:									
		KPI	:								
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考		
		数値									
		達成率	_								
	評	【27年度評		プログラム排	生産が見音を	口木休育大学	芝に派遣し,	スポーツ交流	かた宝施し,		
	価	担当課 評 価	たほか、各	学校における	5児童・生徒	の体力向上を		みに対して、			
	$\overline{}$	ō Т IШ	大学との協	定に基づき教	対員や学生を	派遣した。					
	C	В									
		נ									
	改		おける取り組		ᅡᅜᄼᆇᅄᆉ	フ兴坎へも	2和帝姉佐ノ	(派遣するこ)	レがマキヒ		
平	善善							、派追りるこ で、学校が実施			
成 27	$\widehat{}$	をさらに精	査し、予算を	を効果的に投	入していくる	ことが必要で	ある。				
年度	A 										
度		【評価等に対	古ス音目								
		Int⊞4ICV	19 公志元1								
	委员	委員会									
	貝会	評価									
	委員会意見										
	見										
	Α	:目標以上	に進捗してお	3り、このま	ま継続して	事業を推進す	る。				

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

年度分 平成 27

度

員

会 意

基本的方向学校教育の充実

担当課	学校教育課
ᄁᅼᆖᇠ	一大人 大人

具体的	り施策	④児童·绀	三徒の学力・	・体力の向_	Ŀ・キャリ	ア教育の推	進		
事業	美 名	泉佐野市の	つ未来を創る	る教育事業					
事業	概要	全国学力	算額:14,(]・学習状況 バイザー」を	記調査の結果	果を踏まえ、	重点支援		支援策とし	て「学力
		①日煙車店	: 全国学力•	- 学习:	本(小学坊	算数)結果	の改善		
		KPI	・主国子力・:5年後に全				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
= ⊥		数値	-2.4%	-3.0%	20+/2	20+12	00+12	01+/ <u>X</u>	9,9
計画		達成率	_	0%					
$\overline{}$	標	②目標事項	:全国学力・	学習状況調	查(小学校	国語)結果	の改善		
Р)	事項	KPI	:5年後に全	国平均(全	国平均正答率	率との差がO	1)		
\downarrow	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
実施		数 値	-3.1%	-4.75%					
	状	達成率	-	0%					
D	況	③目標事項	:		•				
		KPI	:						
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
	評	【27年度評		の人材を活用	引って、市全	体の学力向	トと各校の研	· 「究を推進す [、]	るための児
	価	担当課評価	童・生徒の!	学力向上、教	奴職員の指導	力等の向上や	や保護者への	消導・助言	
	$\widehat{}$	01 100			ター:1名 -等が支援を		ヒアドバイサ ^{学校について}	「一:2名 [は、一部の []]	科目で改善
	S	С						値が前年度	
		【28年度に	/^。 おける取り組	みなど					
平	改	他の事業	で行っている	5、放課後学				年度より実施	している
成	善		トなどの事業						
27	A								
年	_								

A :目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

【評価等に対する意見】

委員会

評価

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

平成 27 年度分

基本的方向学校教育の充実

+D 717 =BB	尚 坛 <u></u>
担国誄	子仪 叙 月 誄

具体的	的施策	5策 ⑤国際交流の推進										
事 業 名 モンゴル国トゥブ県との友好交流事業(泉佐野市の未来を創る教育事業) 【最終予算額:4,281千円】 【決算額:3,514千円】												
		【最終予算	額:4,2	281千円)		【決算額:	3, 514	4千円】				
事業	概 要	の中学生か	平成25年7月にモンゴル国トゥブ県と友好交流の覚書を締結したことにより、本市の中学生が現地を訪問し、遊牧民の生活を学び、日本の遊びを紹介するなど友好の絆を深めている。									
		①日煙車頂	: モンゴル国	表好办法参	加老粉							
			· こうコルロ :5年間で5		<u>ш ы ж</u>							
			· 5年間で 現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考			
=⊥		数値	10人	10人	乙〇十汉	20+12	00+12	017/2				
計画		達成率	-	40%					達成率は累 積で算出			
$\overline{}$	標	②目標事項	:	, ,			<u> </u>	<u> </u>	1			
Р)	事項	KPI	:									
\downarrow	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考			
実	進	数値										
施へ	 	達成率	_						1			
D		③目標事項	:									
		KPI	:									
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考			
		数値							1			
		達成率	_									
	評	【27年度評		モンゴルのホ	性大な自然の	中で募らす	族牧民の子と	"もと交流し	. 泉佐野市			
	価	担当課 評 価	の学校の様	子や日本の伝	伝統的な遊び	を紹介した。	言葉が通じ	なくても気	持ちを伝え			
	((от іш	られること	や日本とは選	望う暮らしや	文化を埋解す	することのオ	切さを学ん	た。			
	C)	B										
		1 00555	- +\ -\-\ 7	77. /- 188								
	改 善		おける取り組 庁との連携・		し、現地で(の交流内容を	充実させる					
平 成		1 3 2 710	3 2 3 7 2 1/3					o				
27	(A											
年度)											
区		【評価等に対	する意見】									
	委	委員会										
	() 員	評価										
	委員会意見											
	見											

A :目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

平成 27 年度分

基本的方向学校教育の充実

担当課	学校教育課

- 4	5 +t- 55		5 A +# \#							
		⑤国際交流								
事業										
事業	概要	青少年を 国の言語や	算額:7, 8 対ーストラ ウ文化を学∂ S流を通して	ラリア・ク [゙] ぶとともに、	ィーンズラ ホームス・	ンド州サン テイや学校	• 高齢者施	ーストへ派 設訪問なと	ご現地の こうしん	
		1)月標事項	:青少年海外	\研修派遣人	数					
			: 5年間で5							
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
計			10人	10人					達成率は累	
画		達成率	_	40%					積で算出	
\bigcirc D	標事	②目標事項	:							
P	事項・進捗	KPI	:							
\downarrow			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
実施		数値								
	状	達成率	_							
D	況	③目標事項	:							
		KPI:								
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
		数値							_	
		達成率								
	≡π	【27年度評		こ十半生ま	の主小ケィ	02510	つ明に生した	: T日北ブナ	- ケロサ語の	
	一位	担当課評価	修を受ける。 市や日本文	とともに、 化を紹介した	学校や高齢者 こ。また、ホ	O名を18E が集うコミニ ームステイ	ュニティセン	/ターを訪問	し、泉佐野	
	C	В	仁により多/	様な価値観を	ェ子ルに。					
	-zkτ		おける取り組							
平	改善		について、ii え発信するた		レッスンだ	ナでなく、新	たに体験型の	のプログラム	ムを導入	

委員会 評価

【評価等に対する意見】

戍 27

年 度 Α

員

会 意

A :目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

平成 27 年度分

基本的方向学校教育の充実

担当課	学校教育課
ᇐᆖᇠ	一

具体的	加施策	⑤国際交流	う国際交流の推進 コート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							
事業	* 名	文化交流事	文化交流事業(国際交流推進事業)							
事業	概要	【最終予算額:1,889千円】 【決算額:1,732千円】 子どもたちが自分たちの郷土の良さを再発見するとともに、海外への見識を広げる機会とする小中学生の交流事業を実施する。平成26年度は絵画交流事業(派遣・受入)を実施したが、平成27年度は英語教育推進校児童派遣事業を実施した。								
<u> </u>			・ = 1 	ᆂ⋡⋻⋺	生活生 工些					
		①目標事項 KPI	・英語教育推・5年間で1		1.此冰追人数					
		1 1	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
≣ ∔		数 値	2人	3人	<u></u>				達成率は累	
計画		達成率		50.0%					達成率は系 積で算出	
$\overline{}$	標	②目標事項	:		<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u>- </u>	<u> </u>	
P)	事 項	KPI	<u>:</u>							
↓	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
実 施	進 捗	数値								
$\overline{}$	状	達成率								
<u>D</u>	況	③目標事項	:							
		KP I	: TD:15/±	075-	007=	00-	005	0.45-	J++ - + -	
		数 値	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
		数 値 <u></u> 達成率	-						1	
		建成率 【27年度評	<u>r</u> 価】	<u></u>	<u></u>					
	評価	担当課		推進校である へ派遣した。						
	12	評価	文化の中で	生活すること	こにより、日	本と外国との				
	C)	В	ハーション 	を図ろうとす	y る <i>川</i> を養っ 	/こ。 				
	改		おける取り組織の経過		<u>ታ</u> ተጠላካ ተመቀ	5.李青! ナー	ÎO 5 = 1 15	りが小手にも	シスたい	
平	善	28年度に	海外派遣は、 おいては中学	学生の派遣と	する。派遣者	者の選考につ				
成 27	$\stackrel{\frown}{A}$		ニケーション						_	
年度	· ` `								ļ	
		【評価等に対	する意見】							
	委	委員会								
	委員会意	評価								
	会意									
	見									
	Δ	:目標以上	に進捗してお	さん このま	主継続して	主業な推進す	- Z		•	

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。 C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

年度分 平成 27

基本的方向学校教育の充実 具体的施策 ⑤国際交流の推進

+D 717 =BB	尚 坛 <u></u>
担国誄	子仪 叙 月 誄

事業	首名	マラソンダ	を流事業(目	国際交流推過	進事業)					
		【最終予算	額:1,8	389千円		【決算額:	1, 732	2千円】		
					ンむ人が増加 プロスのでは、1000円である。	10する中、	マラソン大	会への参加	を中心と	
事業	概 要	した社会人	くの国際父が	流を実施する	5.					
		①日煙車頂	・マラハン	大会派遣(招	迪					
		KPI								
			· 5年間で 現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
= 1			2 (3人)	2 (3人)	20年度	乙〇千反	00年度	01年度	,,,,	
計画			Z (3//)	40%					達成率は累 積で算出	
	標	②目標事項		40/0				<u> </u>		
Р	事	KP I	•							
\downarrow	項 •		· 現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
実	進	数 値	坑八世	乙十尺	20千皮	とり十反	004皮	31千皮	開う	
施	捗		_							
(C	状況	③目標事項								
D)	<i>i</i>)Ti	WP I	•							
			· 	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
			九八世	乙十尺	20千皮	20年度	00年度	01年度	用り	
			_							
		【27年度評	<u>[</u> [4冊]							
	評	担当課	【派遣】サ	ンシャインコ	コーストマラ	ソン大会へア	市民ランナー	-2名 (男女	各1名)を	
	価	評価		派遣した。 【招聘】第23回泉州国際市民マラソン大会に参加する海外友好都市ランナーを予						
	(O)		ンゴル国ト	ゥブ県から1	名、オース	トラリア・サ	ナンシャイン	ノコーストか	ら男女各1	
								間観光などの	実施により	
		「八八八円」	友好都市交流を推進した。 おける取り組みなど】							
	改				ソン大会主係	産者からは派	遣者を増や	してほしいと	いう要望	
平 成	善	があるが、	当面は現状約	推持の方向で	継続実施する	3.				
27	A	【招聘】規	状の人数を指	3腭できるよ	う、泉州国際	祭市民マフソ	ノン大会王催	者に要望して	こいく。	
年度	· ·									
岌		【評価等に対	する意見】							
			-							
	妥昌	委員会 評 価								
	委員会意	UI IWI								
	意									
	見									

A :目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

基本的方向男女共同参画社会づくりの推進

基 本 目 標 ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

平成 27 年度分

担当課	
Ⅰ 担当課 Ⅰ	人権推進課

具体的	的施策	⑥仕事と生活の調和(ワークライフバランス)の啓発								
事業	美 名	自己啓発事業等の実施(市民対象)								
事業	概要	【最終予算額: 2,409 千円】 【決算額: 2,228 千円】 男女共同参画の視点に基づく各種講座や自己啓発事業を開催するとともに、相談体制の充実を図る。男女共同参画社会に向けた、各種講座、グループ支援、相談業務等実施。								
<u> </u>										
				事業実施回数	(市民)					
		KPI	:5年間で2	ı	ı		T			
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
計		数値	_	70						
画		達成率	_	35.0%						
P	標事	②目標事項	:							
P)	項	KPI	:							
⇒実施	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
	進 捗	数値								
$\overline{}$	状	達成率	_							
D	況	③目標事項	:							
		KPI	:							
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
		数値								
		達成率	_							
	=177	【27年度評		キルキ」たり	htボベノ いち	ムゼー ロ.	カ・ラノニ	1 . IV=\I	た改みでき	
	評価(担当課評 価	るよう幅広	い世代が参加	IIできるよう	様々なジャン	ンルでの事業	7・バランスを を実施できた を凝らせた。	た。限られ	
	C	В								
		【29年度に	上 おける取り組	ヨルたどし						
717	改				ンスが啓発	できるよう、	男女がとも	に参加できる	多事業を展	
平 成	善	開していく。	。特に、子育	すて世代を支				のセカンドラ		
27	A	美を図る事	業の企画を図	図つていて。						
年 度)									
及		【評価等に対	する意見】							
	汞				<u> </u>					
	員	委員会 評 価								
	会									
	委員会意見									

A :目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B:ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

基本的方向男女共同参画社会づくりの推進

基 本 目 標 ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

平成 27 4	年度分
---------	-----

担当課	まちの活性課

具体的	的施策	⑥仕事と生活の調和(ワークライフバランス)の啓発							
事業	美 名	セミナーや	セミナーや啓発事業等の実施(企業、事業所対象)						
		【最終予算	額:	千円】		【決算額:		戶円】	
		経営者、	管理者の意	意識改革を	目的とした	セミナーや	研修を開催	する。	
事 業	概 要								
		①目標事項	: セミナー等	等の実施回数	(企業)				
		KPI	: 5年間で5	00					
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
計		数値	_	0					
画		達成率	_	0.0%					
(D	標事	②目標事項	:						
P)	項	KPI	:						
→	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
実 施	進 捗	数値							
$\overline{}$	が状況	達成率	_						
D		③目標事項	:						
		KPI	:	1					
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率 【27年度評	— 孤 二						
	評			F度は、啓発	パンフレット	への配布など	を中心に取り	り組んだ。	
	価	担当課 評 価							
	(O)								
)	С							
		【28年度に	おける取り糺	ヨルたど					
717	改			<u>。 まがら、取り</u>	組んでいく。				
平 成	善(
27	À								
27 年 度)								
/Z		【評価等に対	する意見】						
	委	委員会							
	A 員	評価							
	会								
	委員会意見								
	Α	:目標以上	L に進捗してa	ゔり、このま	ま継続して	事業を推進す	る。		

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。 C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

基本的方向|結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実

基 本 目 標 ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

平成 27 年度分

扫兴锂	子育て支援課他関係課
担当誌	カース は 一

具体的	的施策	で出会いの支援								
事業	1 名	婚活イベント等の共催・後援								
				15,1千円】						
		関係団体 を行う。	関係団体等が開催する婚活イベントとの共催や後援を行い、広く情報提供等の支援							
事業	概要	で1J ノ。								
		①目標事項	:婚活イベン	ノトとの共催	等件数					
		KPI	:5年間で1	O件						
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
計		数値	_	0						
画		達成率	_	0.0%						
(D	標事	②目標事項	:セミナー・	・啓発事業等	の実施回数					
P)	項	KPI	:5年間で1	00						
→	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
実施	進 捗	数値	_	0						
$\overline{}$	状	達成率	_	0.0%						
D	況	③目標事項	:							
		KPI	:					1		
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
		数値								
		達成率	——————————————————————————————————————							
	評	【27年度評		27年度補正	予算で計上で	された「地域	少子化対策	重点推進交付	金 を活	
	評 価	担当課評価		業を実施する						
	((01 100								
	C)	D								
		100F#	+\/-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-	77. +- 1% T						
_	改 善		おける取り組金の活用はる	iみなと』 「採択となっ	たが. 一般!	 対源により。	今後, 婚活	イベント実施	団体への	
平 成		委託等を実		ixi/(こん)				1 121 200	2017T. 100	
27	A									
27 年 度)									
及		【評価等に対	する意見】							
	禾	조 무수								
	女員	委員会 評 価								
	委員会意見									
	息見									
	, ,									
	^	・日挿NF	に併せしてま	3り、このま	= 糾結して	巨学た世准さ	- Z			

A :目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。 B :ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D:目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

平成 27 年度分

委員

会

委員会評 価

路公園課
E

具体	的施策	①交通ネッ	<u>, トワーク0</u>	D整備					
事	業名	コミュニラ	ティバス無米	斗化事業					
h		【最終予算	算額∶2,06	8千円】		【決算額:	2,068千月	円(見込))
			上活拠点を選						
事業	美概 要	社会参加\ 	等を促進する	3とともに 、	通勤 • 通 ⁵	字等の経費	滅により転	人促進を凶	්රං
	T		\	- 1/100	+ **•				
			: コミュニラ						
		KPI		11,000人		Г	T	<u> </u>	T
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
計		数値	68,500人	99,747人					27年度 数値は見
画	目	達成率	_	89.9%					込
\bigcap	標事	②目標事項	:						
P	項	KPI	:						
\downarrow	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
実	進	数值							
施へ		達成率	_						
D	況	③目標事項	:			<u> </u>	•	•	•
		KPI	:						
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		達成率	_						
		【27年度記	<u>.</u> 平価】			l	l	l .	
	評価	担当課	コミュニ	ティバスは1				票数値に達し	していない
	価	評価	が、通年べ 	ースでは目標	票を上回る見	込みである。			
	\bigcirc								
	S	В							
	改		おける取り組		こロロズバフ	吐がまち合	===1 	にたて利田	口体を回
平	善善	「仏報い る。	ずみさの」 <i>0</i>	ノ干別と〇午(ノカラ にハス	・団刈衣で王)		ころの包担田	定性で図
成 27	$\widehat{}$								
年	A								
度		F ===	1+2×21						
	ı	【証価等に⇒	u a A首目!						

基 本 目 標 ④時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

A :目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

平成 27 年度分

基本的方向都市基盤の再構築

担当課	政策推進課	
	以宋胜连袜	

具体的	的施策	②時代に合	うった行政な	ナービスの乳	実現				
事業	美 名	近隣市町と	この事務連携	售、 権限移詞					
		【最終予算	額:	千円】		【決算額:	=	F円】	
事業	概 要	広域連携を で処理して た近隣自治	目的に「広域 いる。これる	域福祉課」を まで取り組ん きをさらに強	共同で設置してきた消防が できた消防が 化するととす	ン、社会福祉 や福祉業務の ちに、民間活	:法人の認可)広域連携な	町における社事務等10事 事務等10事 ど、地域の特 ICTの推進	■務を共同 時性に応じ
		①日堙重頂	: 広域連携引	三多类					
		KP I	· 広塚建房。 :5年後に5						
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
計			40事務	40事務	2012	20 12	0012	3 . 1	F10)
画		達成率	_	72.7%					
((標	②目標事項	:						
P)	事項	KPI	:						
\downarrow	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
実施	進 捗	数値							
他(火	達成率	_						
D	況	③目標事項	:						
		KPI	:						
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率	_						
	≣亚	【27年度評		度由に担約	の締結を予言	さしていた1:	5事経のうた	5、 農林分野 ⁻	12重経及
	評価	担当課 評 価	保健分野2	事務について	、規約を平成	或27年度中	口に締結する	ことができた	こが、規約
	((от іш			1月からの取 から54事務		こめ、平成2	28年度に反応	映するもの
	C)	В		11/1/20 1/2	,0				
				77 118					
_	改		おける取り組 終については		ルで折り合い	<u>いがつかない</u>	以能である	が、早い段階	さでの合意
平 成	善	を目指すも	のである。言					共同化できる	
27	A	施していく	0						
年 度)								
及		【評価等に対	する意見】						
	委	委員会							
	員	安良云 評 価							
	委員会意見								
	l 見 見								
	^	・日煙以上	 に坐地しても	≥00 = 00±	士処生! ブョ	も光を供作す	- Z		

基 本 目 標 ④時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。 D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

平成 27 年度分

担当課

基本目標	④時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する
基本的方向	都市基盤の再構築
具体的施策	②時代に合った行政サービスの実現
事 業 名	公共施設等の耐震化・改修事業など
事業概要	【最終予算額:377,968千円】 【決算額:331,512千円】 公共施設等総合管理計画を策定し、長期的視点に立った更新、統廃合、長寿命化などを計画的に行うことにより、公共施設等の最適な配置を実現する。 庁舎耐震改修工事等を27・28年で施工中。 公共施設等総合管理計画を27・28年で業務委託して策定中。

		①目標事項	:							
		KPI	:							
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
計										
画		達成率	_							
$\overline{}$	標	②目標事項	:							
Р)	事項	KPI	:							
\downarrow	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
実 施	進	数值								
他	捗 状	達成率	_							
D	況	③目標事項	:							
		KPI	:							
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
		数値								
		達成率	_							
	≡π	【27年度記		 	フケハケマ	中ドかんにも	ケー・ た			
	評価	担当課	庁舎耐震改修工事等を27年分を予定どおりに施工した。 公共施設等総合管理計画の策定については、27年分の業務委託を予定通り施行し							
		評価	た。公共施	設再配置計画	回の策定は完	了した。				
	C	В								
	改		おける取り組		*****	T # 00 / 1	1000±2	- 5		
並	善善	広告耐震改 公共施設等	修工事の施行 総合管理計画	」を28年51 策定業務を	さ続さ施工、 28年度も約	- 平成28年1 続し、平成	10月元成予) 29年2月1	疋。 2策定完了予	·定。	
成 27	$\widehat{}$, , , , , , , , , , , , , , , , , ,		, _, _,			
年	А 									
度		【評価等に対	#オス音目 !							
			19の窓比1							
	委旦	委員会								
	貝会意見	評価								
	意		1							
	見									
			に半歩してま							

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

平成 27 年度分

扣坐運	市民協働課
担目禄	中氏 励制床

具体的	的施策	③市民が地	地域防災の担	⊒い手となる	る環境の確何	 呆						
事業	業 名 草の根防災訓練(災害対策事業)											
		【最終予算額:16,047千円】 【決算額:12,485千円】 地域の団体が、市の提示する訓練メニューから訓練内容を選択して実施する。										
事業	概要		地域の凹下の、14の使かする訓練オーユーから訓練内谷を選択して夫配する。									
		企口標素 類	· 卢之叶((//									
		①日標事項 KPI	: 自主防災約 : 5年後に9									
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度				
=⊥		数 値	77.41%	81.6%	20年汉	25年汉	00 + /2	01年反	<u> </u>			
計画		達成率	—	84.1%								
$\overline{}$	標事	②目標事項	:									
P)	争 項	KPI	:									
↓	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考			
実施	進 捗	数値										
$\overline{}$	が	達成率	_									
D)		③目標事項	:									
		KPI	:	075	005	005===	005===	0.45	144-4-			
		**	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考			
		数 値 達成率										
		【27年度評	7価】									
	評価	担当課					として定着し	/てきた。平/	或27年度			
	100	評価	木坑住じ、	81町云中02	2町会で結成	0						
	C											
		В										
	7.∕⊽		おける取り組		·///=III/###	左╷ D╾‹‹‹ · =÷	の言わたの	+ ++ +	-D+√ <=III√±</td			
平	改 善							す。また、大 動の促進を図				
成 27	Â											
_ 年 度	<u> </u>											
岌		【評価等に対	する意見】									
	委	委員会										
	員	女見云評 価										
	委員会意見											
	見											
		・日煙NF	L に進捗してま	30 - n=		主学た世许さ	- Z					

基本目標 ④時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

平成 27 年度分

扣坐運	市民協働課
担目禄	中氏 励制床

具体的	的施策	③市民が地	地域防災の担	⊒い手となる	る環境の確何	呆			
事業	1 名								
事業	概要	市民の安 導、災害剤	類:1、8 全・安心を 発生時は救診 いいを地域の	を守るため、 養活動や避難	難所運営の	【決算額: 防火・防災 支援等の後	1、229 知識の普及 方活動を行	干F 啓発や応急 い、女性特	9】 救護の指 有のニー
		①目標事項	:消防団員数						
		KPI	:5年後に1	50人					
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
計		数值	147人	147人					
画		達成率	_	98.0%					
P	標車	②目標事項	:						
	事項	KPI	:						
↓	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
実 施	進 捗	数値							
$\overline{}$	が	達成率	_						
<u>D</u>		③目標事項	:						
		KPI	:					I	144.44
		N/5 /=	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率 【27年度評							
	評	担当課	条例定数	を現状の13	0人から女性	を分団20人を	5計上し、15	50人へ改正。	。消防団員
	価	担当缺 評 価	を確保する。	。消防団員数	対147人の内	引訳(男性13	3O人•女性 [*]	17人)	
	(O)								
)	В							
		【28年度に	L おける取り組	[みなど]					
平	改 善				を条例定数で	である150ノ	人を継続して	確保する。	
成	曲 (
27	Α								
年度)								
		【評価等に対	する意見】						
	委	委員会							
	委員ぐ	評価							
	会意								

基 本 目 標 ④時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

A :目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B:ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

見

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

平成 27 年度分

扣坐運	市民協働課
担目誄	甲氏伽铡沫

具体的	的施策	③市民が批	地域防災の担	⊒い手となる	る環境の確何	呆						
事業	美 名											
事業	概要	ただき、比	【最終予算額:13,829千円】									
	①目標事項:											
		KP I	<u>:</u>									
			<u></u>	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考			
= ⊥			907 NE	211/2	201/2	20 1/2	00 1/2	011/2	WE 3			
計画		達成率	_									
$\overline{}$]標事項	②目標事項	:									
Р)	事 佰	KPI	:									
\downarrow	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考			
実 施	進 捗	数值										
他	状	達成率	_									
D	況	③目標事項	:									
		KPI	:									
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考			
		数値										
		達成率	—									
	評	【27年度評		名簿を作成し	, 地域の支	援団体62組	組織中、16	3組織と協定	を締結し、			
	価(担当課評価			7成27年度表							
	C)	В										
		【28年度に	 おける取り組	みなど】								
平	改 善			ノて制度説明	を行うなど』	広く理解を求	め、登録者	数及び地域の)支援団体			
成	$\overline{}$	の増加を図	ි ං									
27 年	А											
年 度)											
		【評価等に対]する意見】 									
	委	委員会										
	委員会意見	評価										
	意											
	見											

基 本 目 標 ④時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

A :目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B:ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D:目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

平成 27 年度分

担当課	学校教育課

基本的	的方向	健康で安心して暮らせるまちづくり								
具体的	り施策	③市民が地域防災の担い手となる環境の確保								
事業	業 名	泉佐野市少	年消防クラ	ラブ員の東ス	比被災地訪問	問(泉佐野	 市の未来を	創る教育事	 業)	
		【最終予算	額:1,81	7千円】		【決算額:	1,800	F円】		
事業	概要	野市少年消	5教育委員会 前防クラブ員 単状況の聞き	員の小学生な	を東北被災は	地へ派遣し	、現地の少	の一環とし 年消防クラ	で、泉佐一ブ員との	
		小口煙車頂								
		1日標事項	•							
		KPI	TBI比估	07年度	00年度	00年度	20年度	T O1 左在	<i>1</i> ±≠	
		*	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
計画		数値								
	目標	達成率 ②目標事項						<u> </u>		
Р	事	KPI	•							
\downarrow	項 •	177	·	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
	進	数値	坑 扒胆	乙一十次	20十/又	とり十万	304/区	314次	川 15	
実施	捗	達成率						 		
\bigcap	状況	3目標事項	•							
D	<i>ν</i> ι	KPI	•							
			·	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
		数値	近 小恒	乙一十尺	乙〇十汉	とり十尺	00十次	リー十次	M ワ	
		<u></u> 達成率	_						1	
<u> </u>		(27年度評	· · · ·					<u> </u>		
	評価 (C)	担当課評価	泉佐野市 た。被災地 職員から震	である石巻市	っては、現地 などの説明を	の少年消防	クラブ員とσ	て震災の被災!)交流を図り、 を高めるとと!	、地元消防	
		【28年度に	L おける取り組							
平成27年度	改善(A)	震災時の被災地の状況のて工夫し	状況から光景 況がリアルに ていく必要た	号が変化して こ伝わりにく				員にとっては 訪問時の活動		
		【評価等に対	する意見】							
	委	委員 会								

基 本 目 標 ④時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

A :目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

評価

会意

D:目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

平成 27 年度分

	担当課	保健センター
--	-----	--------

具体的	的施策	④食育の推進								
事業	業 名		家庭や学校などにおける食育推進							
		【最終予算	額:	千円】		【決算額:	7	F円】	:	
		字校なと	_ どの宋養/ - 家庭にま	1フンスの(3ける部金/	とれた食事(D重要性な ₍	ル提供によった。 ビー 食に関す	り、健康の する正しい	瑁進、体力 知識の啓発	IPI上を図 存行う	
事業	概要	ا تا ت	-· 小火上(-0	の+7 及り	·/エメ⊥′の(し、火に肉		ハロロダインロガ	IJ	
		①目標事項	:食育の認知	:[]度						
		KPI	:5年後に8	30%						
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
計		数値	71.5%						数値はアン	
曲	目	達成率							ケート調査で	
P	標事	2目標事項	:朝食を毎日	∃食べる人の	割合(小中等	学生)				
<u>P</u>	項	KPI	:5年後に9	95%						
↓	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
実 施	進 捗	数値	87.7%					<u> </u>	数値はアン	
\frown	状	達成率							ケート調査で	
\widehat{D}	況	③目標事項	:							
		KPI	:	· ·						
		NIZE	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
		数値		<u> </u>					.	
		達成率 【27年度評								
	評		平成26年		された泉佐野					
	価	担当課 評 価	置し、事業	を推進してい	1る。家庭や	学校などにも	おける食育推	進の取り組	みとして	
	\bigcap	_ / ,			り朝食を食べ 現子料理教室					
	C)	В				- - ·	3: -	· -		
			· tutっmnック	コントビ						
, , , ,	改 善		おける取り組 委員会を利用		強化していく	<u> </u>				
平 成						· -				
27	A									
年度										
反		【評価等に対	する意見】							
	未	조 무스								
	女員	委員会 評 価								
	会	, , , ,								
	委員会意見									
	ノゼ									
	^	・日煙いし	に進歩! アサ	さり ニのキ	ま継続して	12学を世生さ	-z			
	A		に低づしても	いり、このみ		ア未己肚匹り	· O °			

基 本 目 標 ④時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

B :ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。 C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

平成 27 年度分

扫当課	保健センター
1 担当禄	保性センダー

具体的	的施策	策(④食育の推進)							
事業	美 名	地域における食育推進							
事業	概要	【最終予算 医師会な 働による食	と医療関係	F円】 系団体による などにより、	3啓蒙活動 [。] 生活習慣約	【決算額: め、食に関 病の発症や	千F 連するボラ 重症化の予	ンティア団]体との協
			:食育の認知						
		KPI	: 5年後に	T	225-		l	1	1 ,
		N/5 /=	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
計画		数 値 <u></u>	71.5% —						数値はアン ケート調査で
$\overline{}$	標		L :朝食を毎E	<u> </u>	割合(小中等	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	1
Р)	事項	KPI	: 5年後に9	95%					
\downarrow	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
実施	進 捗	数值	87.7%						数値はアン
	状	達成率	_						ケート調査で
D	況	③目標事項	:						
		KPI	:	· · · · ·			· · · · ·		I
		N/5 1#	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数 値 <u></u> 達成率							-
		選					<u> </u>		
	評 価 (担当課評価	平成26年 にとり、事 診時に若年	業を推進して 者への啓発や	ている。地域 か生活習慣病	における食	計画に基づる 育推進の取り の試食や展示)組みとして f、イベント	は、基本健 等における
	C)	В	啓発などを ドバイスを		た、特定健	診保健指導 [*]	や介護予防事	3業等の教室	や相談でア
	公		おける取り組		トロークなり	たげるニレフ	、市民の視	占な取りつも	1た車業な
平 成	善	実施してい		ETILO, AV	トラーフでは	4178666		品で取り八1	ルこ争未で
27	$\stackrel{\frown}{A}$								
年 度)								
反		【評価等に対	する意見】						
	委員会意見	委員会評 価							
	意見								
	^	・日挿いト		ゔり、このま	+ 郷徳1 で	も光た批准す	- Z		

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

E:目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

基 本 目 標 ④時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

平成 27 年度分

具体的施策 ④食育の推進

扫当課	農林水産課
15111111111111111111111111111111111111	废价外连帆

事業	《 名	生産者における食育の推進								
事業	概要	【最終予算 農業体験 感謝の心を	などにより	千円】)、食材にで こ、地元食材	ついての知。 対の給食への	【決算額: 職を得ると の提供など	ともに自然	F円】 の恵みや生 地消を進め	<u>産者への</u> る。	
		○ - -								
		①目標事項 KPI	<u>:</u>							
			<u>·</u> 現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
計		人 数 值								
画	目	達成率	_							
(P)	標 事	②目標事項	:							
	項	KPI	:				T	1		
→ 実	• 進	371	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
施	捗	数値								
(C	状況	達成率 ③目標事項	<u> </u>							
D)	<i>ν</i> ι	KP I	<u>:</u> :							
				27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
		達成率	_							
	評価(【27年度訊 担当課 評価	若手農業 グループに 地曳網体験	よる小学生に の場の提供に	対する落花	生収穫体験、	若手漁業者	ほり体験や による小学: や自然の大	生に対する	
	C)	В	ての理解に	劣めた。						
	改		おける取り組		一个++ 1-++-	+ 7 50=11 0 5	1 4 1 1 1 2 1	+lm+l=01		
平成7年度	S善(A)	51さ続さ、 に努める。 	、各種の体制	東を通じて地	元良材に刈り	9 る知識の	」上や自然の	大切さについ	1(の理解	
/		【評価等に対	する意見】							
	委員会意見	委員会評 価								
	意見									
	A B				ま継続して事業					

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

E:目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

基 本 目 標 ④時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

平成 27 年度分

基本的方向都市基盤の再構築

具体的施策 ⑤エネルギーの地産地消

担当

事業	美 名	泉佐野電力からの電力受給調整									
事業	概要	【最終予算額: 千円】 【決算額: 千円】 一般財団法人泉佐野電力を設立し、その後、泉佐野電力から市への電力受給を促進、調整する。									
		①目標事項	:泉佐野電力]電気供給量	(デマンド値	直)					
		KPI	:5年後に1	5,000 k W							
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考		
計		数値	5,000 k W	4,859kW							
画		達成率	_	32.4%							
(P)	標事	②目標事項	:								
	項	KPI	:								
↓	• 進		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考		
実施	步	数値									
$\overline{}$	状	達成率	_								
<u>D</u>	況	③目標事項	:								
		KPI	:	075	005	005===	00		144-4-4		
)/ h / +	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考		
		数値									
		達成率 【27年度評									
	評価(担当課評価	27年度	は、市の施設 電力)である 現状値に近い	5 。		こ34か所に対	対するデマン	ド実績値		
	O)	В									
	改		おける取り組		小班田の	ほにおいて	京に割めた)				
平成 27 年度	善(A)	また、平 となったた。 泉佐野電	28年度は、小中学校給食センター、幼稚園3園において高圧契約を追加した。 また、平成28年度からの「電力自由化」に伴い、低圧部門でも泉佐野電力からの供給が可能 となったために、市関連の約700か所に低圧受給を予定している。 泉佐野電力では、民間会社7カ所にも高圧契約が予定されており、28年度では7,000kW弱 D最大需要電力供給を目指している。								
		【評価等に対	する意見】								
	委員会意見	委員会評 価									
	意見		に進捗してお		- CDU (-2						

基 本 目 標 ④時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

平成 27 年度分

27 年

度

Α

員

会意

【評価等に対する意見】

委員会

評価

担当課	保健センター
-----	--------

具体的	り施策	⑥高齢者の健康づくり								
事業	名 名		建康マイレージ事業							
		【最終予算額:575千円】 【決算(見込)額:340千円】								
		健康教室への参加や特定健診・がん検診等の受診など、健康づくりへの取組みをポイント化して記念品等の付与を行い、健康づくりへの積極的な参加促進を図る。								
事業	概要	イント化し	ノて記念品等	学の付与を行	」い、健康?	づくりへの	植極的な参	加促進を図	්රං	
3 210	170 —									
		①目標事項	:特定健診受	多診率						
		KPI	:5年後に6	60%						
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
計		数値	31.7%	32.0%					当該年度の	
画		達成率	_	53.3%					·2年前の数 値	
$\overline{}$	標	②目標事項	:					•	•	
Р	事項	KPI	:							
\downarrow	- 块		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
実	進		9000	<u> </u>	2012	2012	00 1/2	0.12	Mig S	
施	捗	達成率	_						1	
(D)	状況	③目標事項	<u>. </u>							
	<i>7</i> 0	KP I	•							
			· 現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
		***	玩 扒但	21 牛皮	204/反	29年度	30年度	314度	佣5	
		数値							-	
		達成率 【27年度評	— [[#]							
	評			増加がみられ	nず、制度の	周知や参加し	かすいてま	が必要であ	る.	
	価	担当課評価			עט עלנינון דע ט	/-J/L (- J/L)			Φ.	
	\bigcirc	ō ↑ 1Ш								
	C									
		C								
		【28年度に	L おける取り組	みなど】						
平	改善善		加者を増加さ					施設に拡大す	する。ま	
차	普	た、記念品の	の種類を増や	ゆすことで、	幅広い年代原	雪の参加を呼	どかける。			

基本目標 ④時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

B: ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

平成 27 年度分

	担当課	保健センター
--	-----	--------

具体的	的施策	⑥高齢者の)健康づくり)					
事業	1 名	健康増進事	<u></u>						
事業	概要	健康教室		5特定健診		等の受診なる	ど、健康づ	50,315千P くりへの取 加促進を図	組みをポ
		①目標事項 KPI	•						
		NP I		07年中	20年中	20年度	20年中	21年中	/# ≠
		*** /=	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
計画		数值	_						
	目標	達成率 ②目標事項							
Р	事	KPI	•						
→	項 •		· 現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
実	進	数値	少61八旧	仁1 十汉	乙〇十汉	とし十次	00十次	○↑十尺	UHH 'D
施	捗 状		_						
(D)	況	③目標事項	:					<u>. </u>	
		KPI	:						
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		達成率							
	≣117	【27年度評		午度から土雪	ョガレ t☆=◇ へ	無料。原品	としまりしゃっっ	□□◇土Ψ□	十十畄カロチバフ・
	評価	担当課	られるが、	他のがん検診	多等の受診率 かんりゅう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	は低い状況と	となっている	、受診者数1 る。また、参	考として、
	$\overline{}$	評価	平成26年度	をにおけるが	ん検診受診薬	区は、肺がん	検診7.0%、	子宮がん検 検診7.7%と	診
	C)		26.1%、引 る。	いし / い代記 して	J.U/O、 目が、	, いスロクサ.ひで	ハーノ ハガあんげんり	1ス10/1.1/00	<i>、</i> ムン (VI
		U							
	改		おける取り組を増める		時に受けた*	1ストスにす	スために ・	集団のセット	、給診た夕
立立	善	数設定し、-	一部を女性の)ための「レ	ディース検討	彡」 日とする	。また、検	診の予約や受	診相談に
成 27	A				、市民の利便 師会と連携を			医のもとで受 。	診できる
年	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	にいいスログに		、こうなに区	.urムし に]乃(-교· 八 儿大		J	
度		【評価等に対	する意見】						
	丢								
	委員	委員会 評 価							
	会								
	会意見								
	, ,								

基 本 目 標 ④時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

A :目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D:目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

平成 27 年度分

担当課 高齢介護課・保健センター

基本的	力方向	健康で安心	ルして暮らt	せるまちづく	くり				
具体的	加施策	⑥高齢者の)健康づくり)					
事業	《名	l	は張講座の関						
事業	概要	【最終予算 高齢者か くり、虐待 の支援を図	首ら介護う 、消費者被	千円】 別を意識で 改害防止、原	できるよう! 成年後見制!	【決算額: 出張講座(注 度)を開催	介護予防、	F円】 認知症予防 状態になら	、健康づ ない生活
		①目標事項	:出張講座第						
		KPI	: 5年後に7						
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
計		数値	690	1050					
		達成率		140.0%					<u></u>
$\overline{}$	標		:出張講座受						
Р	事項	KPI	: 5年後に3,	,100人/年					
↓	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
実施	進 捗	数値	2,914人	2,367人					
$\overline{}$	状	達成率	_	76.3%					
D	況	③目標事項	:						
		KPI	:					_	
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数值							
		達成率	— 证本】						
	評	【27年度評		、高齢介護調	₹•保健セン	ター・地域や	型括支援ヤン	/ター(社会社	<u></u> 冨祉協議
	価(担当課評価	会)にて実施の利用が少な	施している出 ないため、ぅ	出張講座の合	計数である。	利用者は、	減少傾向にる	あり、新規
	C)	В	加を促して	V 1 🔍 o					
	⊐ <i>I</i>		おける取り組						
<u> </u>	改 善	今後も利	用者増加のた	-め、チラシ	や広報誌で到	案内を強化し	ていく。		
戍	$\overline{}$								
27 年 度	A)								
		【評価等に対	する意見】						
	丢	未早春							
	委員会 意見	委員会 評 価							
	会								
	見見								
	, 0								
	^	・ロ挿いト	-\#+t-!	110 -			-	1	

基 本 目 標 ④時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

A :目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B:ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

平成 27 年度分

具体的施策||⑦地域づくり|

担当課	市民協働課	
担当床		

事業	善名 名	防犯推進事	業						
事業	概要	児童の登 の活性化を	図るため、	安全見守り	一部を補助	している地: し、安心安:	全なまちづ	ター(現在 くりを進め	8校区) るととも
		①目標事項							
		KP I	<u>:</u>						
				27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	 備考
計			7 7 7 7						
画		達成率	_						
О)	標事	②目標事項	:						
Р) .	項	KPI	:						
→ [• 進		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
実 施	捗	数値							
(D)	状況	達成率 ③目標事項	<u> </u>						
		SEI KPI	•						
			· 現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	 備考
			301/YIE	211/2	201/2	20 1/2	001/2	011/2	, m J
		達成率	_						
	=π	【27年度評			htff ウヘムン		カポレモが		- 5刀士 10
	評価	担当課		小学校区に19 安全センター				2小学校区(こ留まり、
	$\overline{}$	平 価							
	C	В							
平	改	残りの3小	学校区に地域	或安全センタ	一設立をめる	ざす。			
成	善								
27 Æ	Α								
27 年 度)								
		【評価等に対	jする意見】 						
	委	委員会							
	貝会	評 価							
	委員会意見								
	兄								
	Δ	 :目標以上	 に進捗しては	おり、このま	き継続して	事業を推進す	- ろ.		

基 本 目 標 ④時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

平成 27 年度分

扣坐運	市民協働課
担目誄	甲氏伽铡沫

具体出	1)他束	⑦地域づく	<u>、り</u>							
事業	美 名	町会連合会	会の加入促進							
		【最終予算	郭額: 1	6,372	千円】	【決算額:	15,8			
			台の振興並で	どに住民の村	1互扶助等	を図るため、	、泉佐野市	町会連合会		
事業	概要	補助金を交 を配付する		リ云連合会に	み、川人する	の町式・目	石云川人者	に対して活	劉 促進袋	
		C⊟013 A €	רוחם כי סיס ע פינוחם ב							
		①日煙車店	:町会加入率							
		U日信争垻 KPI	· 町云加入4 :5年後に70							
			現状値		28年度	29年度	30年度	21年中		
		₩, +		27年度	∠0年度	∠⊍午度	○○午度	31年度	備考	
計画		数値	63.2%	62.6%					,	
画 (目標	達成率		89.4%						
P	事	②目標事項	•							
	項	KPI	· TD.1.N/—	07/	00/==	00/==	00/ -	0.4 ====	J++ 	
→ 実	• 進	N/E /	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
施施	捗	数値								
ğ (D)	状	達成率	_							
	況	③目標事項								
		KPI	:		<u> </u>		-			
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
		数値								
		達成率	_							
	評	【27年度評		まったげかり		里けまりて		27年度の実	'結上して	
	一個	担当課						(21年度の美)3回実施)。		
	$\overline{}$	評 価					- · · ·	•		
	C									
	⊋ <i>J</i> r		おける取り組							
亚	改 善	引き続き	、啓発に取り)組み、事業	を継続する。					
戍										
27 Æ	Α									
平成27年度	<u> </u>									
		【評価等に対	する意見】							
	委	委員会								
	委員会意見	評価								
	会									
	息見									
	, 0									
			<i>に</i> としてま							

基 本 目 標 ④時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

A :目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B:ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

平成 27 年度分

具体的施策||⑦地域づくり

担当課	市民協働課	
担当床		

事業	1 名	まちづく <i>り</i> 【最終予算)みんなで参 額: 4			【決算額:	1,72	7 千円)	
		地域コミ	ミュニティだ	5動の活性(とや地域の流	車帯強化を	促進するた	め、泉佐野	市町会連
事業	概要	合会に加 <i>入</i> 	、する町会・	・目治会が新	断たに取り	組む事業に	対し補助金	を交付する	0
		①目標事項	:町会加入率	×					
		KPI	: 5年後に7	0%以上					
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
計画(数値	63.2%	62.6%					
	目煙	達成率	_	89.4%					
(P)	標 事	2目標事項							
) –	項	KPI	:	07/F#	00/T#	00/T/T	00Æ#	04/5/5	/++ -1 /
実	• 進	数値	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
実施(D)		達成率							
		3目標事項	•						
		KPI	:						
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	 備考
		数値							
		達成率	_						
	≡π	【27年度評		ち フ 市 光 ズ !-	+51 77	の才生産は2	1 m A h 2 C	からにおけ	
	評価	担当課	民口外が生ひり	のる事業では	はない。平成	21年度は8	一町云中300	山云に父刊。	
	$\overline{}$	評 価							
	C	С							
	改		おける取り組 止 (H26	Bみなど】 27年度限	定重業)				
平 成	善	学来 の///し	E (1120)	21一次成	~ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
27	A								
27 年 度)								
反		【評価等に対	する意見】						
	委	委員会							
	員	評価							
	委員会意見								
	見								
_				_					

基 本 目 標 ④時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

A :目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。 C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

平成 27 年度分

担当課	高齢介護課
担当課	局齡介護課

基本目標	④時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する
基本的方向	健康で安心して暮らせるまちづくり
具体的施策	⑦地域づくり
事 業 名	泉佐野市三世代同居等支援事業、認知症サポーター養成講座(家族介護継続支援事業)
事業概要	【最終予算額:3000千円】 【決算額:700千円】 ・泉佐野市内における三世代同居等を促進することで、こどもを安心して産み育てられ、また、高齢者等が安心して暮らせる健康で幸せな住環境を創るために、高齢者世帯と同居又は近居することとされたこども世帯に対して、予算の範囲内でその費用の一部を助成する。 ・認知症になった高齢者とその家族が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地

		①目標事項	:三世代同居	号 等支援件数					
		KPI	:5年後に3	30件/年					
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
計		数値	_	7件					
画		達成率	_	23.3%					
<u> </u>	標事	②目標事項	:認知症サブ	パーター数					
Р)	項	KPI	:5年後に5	5,500人					
	•		現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
実施	進 捗	数値	4,144人	4,324人					
	状	達成率	_	78.6%					
D	況	③目標事項	:						
		KPI	:						
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率	_						
		【27年度評		双式 26年間	きかに行って	ハスが 声	¥₩₩₩₩	はは色の名	(よれ) (共力)
	≣亚	担当課	本事業は平成26年度から行っているが、事業当初は、助成対象の条件が厳しかったため、該当者がなく、平成26年度は実績が「〇」であった。これを受け、						
	価	= 1 1	平成27年	度より一部勢 タブ 助成家	要綱を改正し	、条件を緩った。	和して事業を 全後生 草崎	E行い、平成 全字等が安心	27年度は
	((
))	R	のとする。	内の割り中で	トャラバンノ	ノトレ切力		ゖポーねっち	抽めし てい
			る。平成2	7年度は、「	Fヤフハフス 5内の小学校	の児童に対	し、唯美にり	バーター <i>を</i> . 怪できたこと:	がよかっ
		「00年度に	た。	コッナ。ドー					
平	改				せや、市外	転入者や市内	動民者に対	し、市民課で	での広報チ
		ラシの配付	などを行い、	広く市民に	周知し、申	請に繋がるよ	くう努力する	0	
年	_					し、認知症の)埋解を地攻	住氏に仏める	る活動を行
度)								
		【評価等に対	する意見】						
	禾	エ ロ ヘ							
現状値 数値 達成率 - 【27年度評価】 担当課 本事業は平かっ成27年度では、本事には、本事には、本事には、本事には、本事には、本事には、本事には、本事に									
	意								
	兄								
			(-)44+15 1			+ 114 <i>+</i> 14 14 -			

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

平成 27 年度分

┃ 担当課 ┃ まちの活性課

基本	目標	④時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する									
基本的	方向	向 健康で安心して暮らせるまちづくり									
具体的	加施策	⑦地域づくり									
事業	事業名 地域資源ブランディング事業										
		地域資源ブランディング化推進事業									
		【最終予算額:1,750千円】 【決算額:1,750千円】見込 地域の魅力を再発見し、そのことにより郷土愛を育成することを目的に、地域に伝わる伝承民話をモ									
事業	概 要	チーフにした創生神楽を、地域住民と協働して創作する。一方、観光庁は観光のカテゴリーとして「神楽									
		観光」を推奨しており、これら二点を結びつけるべく外部専門アドバイザーを招聘し、地域住民が主体となって当市にある幾多の民話や伝説をストーリーにした神楽の創生を支援することで、より一層の郷土愛									
			を育み、定住促進を図り、また創生神楽鑑賞を目的とした観光客の誘客を図る。								
		1目標事項	①目標事項:地域づくり活動団体参加者数								
		KPI : 5年後に150人									
			現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考		
計		数值	68人	111人							
画	目描	達成率		74.0%							
(P)	標 事	②目標事項	:								
	項	KP I						- · ·			
↓ 実	• 進	N/A	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考		
施施	捗	数値									
$\overline{}$,	達成率	<u> </u>								
D		③目標事項 KPI	•								
		N P 1	·	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考		
		数 値	近 八胆	∠1 十戊	ZU+/支	とご十反	○○十垓	○Ⅰ廿垓	用写		
			_								
	評価 (C)	【27年度評									
		担当課						短期であった の認知を広る			
		評価	該事業は進み出したところである。ただそんな中でも、神楽の認知を広めるため、 神楽の上演会を開催したり、また神楽の出演者である子どもの募集をして参加者を								
		ר	- 募り、神楽演舞の練習会を定期的に行ったりし、具体的に事業を進めている。 								
		Б	В								
平	건서		おける取り組		111-1-25	J= / /	1 = =	L#\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	-1 -		
	改 善	今後も当支援を続け		りることで、	地域の歴史る	に伝統を活力	いした「創生	神楽」の創作	に向けた		
成 27	\frown	7 1010 J									
年 度	А 										
		【評価等に対	する音目								
	未		ンの心が孔								
	委員会意	委員会 評 価									
		- , ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,									
	息見										
	, 0										
		・ロ挿いト	 			F 111/ 17/ 17/- 1					

A ・目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

平成 27 年度分

担当課 障害福祉総務課	
-------------	--

具体的	体的施策で地域づくり									
事業										
		【最終予算		千円】		【決算額:		千円】	125722-57	
事業	概 要	地区福祉委員会が主催する高齢者や障害者等への見守り訪問活動 【個別支援活動】 や孤立防止や地域での仲間づくり、介護予防等の目的で開催する交流会や高齢者サロ ン活動【グループ支援活動】の支援を行う。								
		①目標事項:個別支援活動実施世帯数 KPI : 5年後に2,100世帯								
	'	KPI			00/F#	00/F#	00/F#	04/5/5		
	目標事	ΨF / -	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
計画		数値	1,925世帯	集計中	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>		1	
画(達成率	· /¬` ¬¬ →	Ţ每注₹₽₽₩		<u> </u>	<u> </u>			
P)			: グループ支							
\downarrow	項 •	KP I		,890世帯/		20年度	20年史	01年度	<u> </u> #≠	
実	• 進	*\pu \psi	現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
施	捗	数值	1,775回/年	集計中				 		
(D	状 況	達成率 ③目標事項							1	
D	<i>流</i>	SIE標事項 KPI	•							
			· 現状値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
		数値	ルバ世	ム・十 攻	20十1文	ムツ十次	0041这	して一方	/用 [・] 5	
		<u></u>	 _ 						1	
		【27年度評	· [四]							
	評価(C)	担当課評価	高齢化の 地域で支援 課題の困難	を必要とする 化の予防など	る人の孤立死 ごに非常に効	・引きもりた 果を上げてい	などの防止や いるといえる	員会の見守り は温祉課題の る。個別支援第	早期発見や 実施世帯数	
		В	とっても、	きめ細かで充	製は、概ね昨 充実した支援	サく回様の3が行われた。	以順 で推移し	ノており、要 <u>う</u>	火抜白に	
	善 〈 A		こおける取り組 で生活する き		老什++++++++++++++++++++++++++++++++++++	ていノー レか	(目)3 生わっ	ニとかに だ		
中		支援者への	支援活動をよ	じり充実させ	ていくととも	もに、新たな	要支援者の	ことから、現 発見の仕組み	⊁を強化し	
成 27		ていく必要だ	がある。また	こ、併せて、	これらの活動	動を継続的に	実施してい	くためには、	活動を支	
年								くことが求め の支援を行っ		
度		【評価等に対								
	委員会意見									
		委員会 評 価								
		от (Ш) 	Į							
	意		Į							
	兄	1								
	^	・日標以上			1. ((- NIV 117 117 1	-			

基 本 目 標 ④時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

C :目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D :目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。